

令和5年度

# 事業別決算説明

一般会計 歳出の状況

文教経済常任委員会関係

文化観光部

# ○事業別決算説明について

## 1 上段の表中の表示について

- (1) 執行額、翌年度繰越額、執行残額は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は「-」（ハイフン）を表記しています。
- (2) 執行額の財源内訳欄及び執行残額の内訳欄は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は見易さを考慮し空白としています。
- (3) 個々の数字は、表示単位で四捨五入しています。また、財源内訳欄は、それぞれの数値を表示単位で四捨五入し全体額との調整を一般財源欄で行っています。
- (4) 執行額、執行残額は、それぞれ決算書の支出済額、不用額を表しています。

## 2 執行残額について

執行残額については、大きく4つの理由に分けて金額を表示するとともに、具体的な内容を【執行残額について】に記載しています。

なお、原則として千円単位の表記となっていますが、執行残額が「0」の場合（単位未満の数値がある）は、円単位で表記しています。

※令和5年度事業が令和6年度に複数の課に分割された場合は、令和6年度所管課分の数値を記載し、下段【】書きで令和5年度事業全体事業費を記載してあります。

事業の概要以降は、令和6年度所管課分の事業について作成してあります。

(例) 令和5年度事業費(●●課) 48,000千円



令和5年度事業費(令和6年度○○○○課) 36,000千円  
 令和5年度事業費(令和6年度△△△△課) 12,000千円

※令和5年度と令和6年度で所管課名称が変更になった場合、または、課等の名称が変更になった場合は、下記のとおり表現とし、事業を担当する令和6年度の所管課を作成してあります。

記入例 : 令和5年度は●●課で実施した事業が  
 令和6年度に○○○○課に移管された場合

所管課等	○○○○課 (令和5年度所管は●●課)
------	------------------------

(単位：千円)

決算書 (P ~ P)	款 項 目	所管課等	○○○○課 (令和5年度所管は●●課)
事 業 名			

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市 債	そ の 他	一般財源
36,000 【48,000】						
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	そ の 他	

執行額、翌年度繰越額、執行残額の欄は、次のとおり  
 単位未満の数値あり：「0」（ゼロ）  
 該当数値なし：「-」（ハイフン）

財源内訳、内訳の欄は、次のとおり  
 単位未満の数値あり：「0」（ゼロ）  
 該当数値なし：空白

地域独自の予算事業の決算説明は、本冊子では事業名、地域自治区、決算額のみ記載しています。実施内容等については、別冊の議会資料に記載しています。

(単位：千円)

決算書 (P148～P149)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
80,935	80,846					80,846
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	89			85	4	

## 【目的】

市民が気軽に文化・芸術に触れる機会や文化活動の発表の場を提供し、文化・芸術への関心を高めるとともに、主体的な文化・芸術活動を育むことで、文化の向上を図る。

## 令和5年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和5年度目標

入館者数 67,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・指定管理の状況

導入開始年度：平成17年度

指定期間：令和2年度～令和6年度(5年間)

指定管理者名：株式会社 NKS コーポレーション(本社：新潟市)

## ・芸術文化事業の内容

(単位：人)

区分	事業名	入場(参加)者数
鑑賞事業	椎名豊コンサート	104
	森山直太朗コンサートツアー	1,393
	鼓童ワン・アース・ツアー2023 ミチカケ	1,439
	新潟県音楽コンクール	120
	ジャルジャル 単独ライブ	1,099
	林家正蔵 落語独演会	173
	宝くじ文化公演「スクリーンミュージックコンサート」	1,171
	第1回上越演芸大全	404
	劇団四季「クレイジー・フォー・ユー」	1,288
	第1回えちご上越能	604
	お笑いライブイベント 笑いイチ	2,861

決算書 (P148～P149)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

区分	事業名	入場(参加)者数
鑑賞事業	スモールコンパクトパフォーマンス	
	エリック・ミヤシロ&宮本貴奈 (トランペット、ピアノ)	223
	高橋維 (声楽)	162
	ジェイコブ・コーラー (ピアノ)	143
	茨木智博&森悠也 (オカリナ、ピアノ)	160
	小計 15事業	11,344
普及事業	ポルトガルギター&マンドリン (湯浅隆、吉田剛士)	329
	リコーダーとリュート (吉澤実、永田平八)	534
	狂言 (大蔵流狂言 山本東次郎家)	485
	和太鼓 (上田秀一郎)	527
	打楽器アンサンブル (本間美恵子、倉澤桃子、藤島玲子)	362
	落語 (林家はな平)	334
	チェンバロ (笠原恒則)	549
	小計 7事業	3,120
創造事業	上越真夏の音楽祭	167
	前島密翁頭彰講演・三遊亭白鳥創作落語	303
	小川未明フェスティバル 2023	219
	上越シニア劇団定期公演	174
	第5回上越マーチングバンドコンサート	489
	小計 5事業	1,352
育成事業	上越マーチングバンド育成事業	656
	上越シニア劇団活動事業	614
	上越文化会館 勝手にエンジョイコンサート	228
	小計 3事業	1,498
合計	30事業	17,314

- ※ 鑑賞事業：多様な市民ニーズを捉えた質の高い芸術作品を招へいする事業
- ※ 普及事業：アーティストが町内会や小・中学校に出向いて演奏等を行うアウトリーチ事業
- ※ 創造事業：新たな文化・芸術活動を創り出す市民参加型の事業
- ※ 育成事業：マーチングバンドや劇団活動などを通して、市民の文化意識の向上を図る事業

○施設の管理実績  
・利用者数等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用件数	690件	819件	-	964件
利用者数	52,503人	60,092人	67,000人	63,867人

決算書 (P148～P149)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	国庫支出金	-	-	-	-
	市債	-	-	-	-
	諸収入	647	-	-	-
	合計	647	-	-	-
②支出	指定管理委託料	75,982	70,803	68,208	68,208
	再算定による増減額 ※1	7,774	2,595	-	-
	施設管理委託料	660	1,265	853	852
	設計業務委託料等	169	-	-	-
	報償費	50	34	34	34
	費用弁償	1	1	2	1
	消耗品費	268	-	40	40
	修繕料	2,537	1,176	2,813	2,812
	手数料	23	-	3	2
	施設整備工事	-	-	5,961	5,876
	備品購入費	-	47	2,090	2,090
	エネルギー価格高騰補填金 ※2	-	4,758	883	883
	令和6年能登半島地震損害補填金 ※3	-	-	48	48
合計	79,690	78,084	80,935	80,846	
③公費投入額 (②-①)		79,043	78,084	80,935	80,846
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		1,505	1,299	1,208	1,266

※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

決算書 (P148～P149)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			計画	実績	
収入	利用料金収入	11,935	11,331	14,130	10,723
	指定管理委託料	75,982	70,803	68,208	68,208
	再算定による 増減額	7,774	2,595	-	-
	補助金・助成金	1,391	1,559	431	※1 5,260
	エネルギー価格高騰補 填金	-	4,758	-	883
	令和6年能登半島地震 損害補填金	-	-	-	48
	その他(入場料等)	9,135	17,457	18,115	21,490
	収入計 ①	98,443	105,908	100,884	106,612
支出 ②	98,393	105,794	100,884	104,978	
差引 (①-②)	50	114	0	1,634	

※1 (公社)全国公立文化施設協会「令和5年度公文協アートキャラバン事業」(対象事業:第1回えちご上越能ほか4事業)、新潟県「舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト事業」(対象事業:小川未明フェスティバル2023)、(一財)自治総合センター「宝くじ文化公演事業」(対象事業:宝くじ文化公演「スクリーンミュージックコンサート」)

○目標達成状況

芸術文化事業の入場者数は計画を上回ったものの、貸館の利用者数が計画を下回ったことから、入館者数が63,867人(目標67,000人:達成率95.3%)となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・鑑賞事業では、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象としたミュージカルやコンサート、演芸などを実施し、優れた舞台芸術作品を鑑賞する機会を提供した。
- ・普及事業では、アーティストが小・中学校や町内会へ出向いて公演を行う「アウトリーチ事業」を拡充して7事業21か所で実施し、多くの市民がより身近な場所でプロの実演を鑑賞する機会を提供した。
- ・創造事業では、顕彰団体と連携し、未明童話「月とあざらし」をテーマに開催した「小川未明フェスティバル2023」において、市民による朗読劇や小学生による読書感想文の発表等を行ったほか、前島密翁顕彰講演と創作落語を行い、郷土の偉人を顕彰した。
- ・育成事業では、マーチングバンドや劇団活動を通して、市民の文化意識の向上を図ったほか、1階ロビーを市民に無料で開放する「勝手にエンジョイコンサート」を実施し、4団体から利用を得て好評を博した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・入館者数を増やすため、来館者のアンケートによるニーズの把握や他館の公演状況をリサーチし、多様なジャンルの事業を企画していく。
- ・建物や機械設備等の老朽化が進んでいることから、計画的に改修を進め、利用しやすい環境を整える。

決算書 (P148～P149)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

**【執行残額について】**

入札差金：給湯器設置工事 85

その他：手数料、費用弁償等の残 4

(単位：千円)

決算書 (P152～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,090	6,288					6,288
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	802				802	

**【目的】**

市民による歴史資源の魅力をいかしたまちづくりを推進し、地域に対する誇りと愛着の醸成を図るとともに、歴史的建造物の保存と活用に向けた取組などを通じて、地域の活性化と文化の振興を図る。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

歴史資源を活用した街なか回遊の促進とにぎわいの創出 544

## ○令和5年度目標

貴重な歴史資源への関心を高め、街なかのにぎわい創出に寄与する。

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 民間や市が所有する町家の公開

街なかの回遊性の向上やにぎわいの創出を図るため、市民団体等と連携して民間や市が所有する見学可能な町家の情報を収集し、市ホームページで紹介した。

## (2) 雁木と町家の魅力の発信

高田城址公園で開催される観桜会や観蓮会に合わせ、市民団体等と連携し、町家交流館高田小町において「町家ガイド」による雁木と町家の特徴等を解説することにより、地域の歴史や文化の魅力を発信した。

## ○目標達成状況

計画どおり雁木と町家に関する情報を市ホームページで発信し、観桜会・観蓮会に合わせた町家ガイドを実施したことで、関心を高め、街なかのにぎわい創出に寄与できた。

歴史的旧家連携交流支援事業 200

## ○令和5年度目標

市内に点在する歴史的建造物への関心を高めるとともに、地域資源の継続的な発信と活用に向けた取組を支援し、交流人口の拡大を促進する。

決算書 (P152～P153)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

○実施内容、これまでの経過等

歴史的旧家を活用し、地域資源の魅力発信に取り組む「NPO法人上越名家ネットワーク」に補助金を交付し、上越名家4邸の周知拡大を図るための上越名家写真コンテスト(応募作品56点から大賞2点、各邸賞4点を選定)及び写真展(R6年3月9日・10日 エルマール1階催事場200人程度が来場)の開催を支援した。

○目標達成状況

市が補助金を交付し、NPO法人上越名家ネットワークによる上越名家4邸をPRする写真展の開催を支援したことで、市民に名家の魅力を紹介できたほか、一斉公開を通じて歴史的建造物を活用した誘客と回遊を促進することができた。

雁木整備事業補助金の交付 2,417

○令和5年度目標

市民への経済的支援を行うことにより、雁木整備を促進する。

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 指定地区における雁木の新築・修繕、雁木下通路の段差解消工事に対して補助金を交付した。
- (2) 令和5年度から新潟県空き家利活用支援事業を活用し、県外転入者及び子育て世帯を対象とした補助金加算額を設けた。※利用実績なし

・令和5年度末までの地域指定及び補助金の交付状況

年 度	地域指定		補助金交付	
	地域数	指定距離 (m)	件数 (件)	金額
平成16年度～令和4年度	26	10,774	153	60,964
令和5年度	0	0	9 内訳 修繕 8[52.4m] 段差解消 1	2,417
合計	26	10,774	162	63,381

○目標達成状況

申請のあった9件すべてに補助金を交付し、市民による雁木の整備が促進された。

地域独自の予算事業 947

- ・風鈴街道 in 雁木 2023 事業(高田区)(36)
- ・高田世界館と高田小町界限散策ガイド制作とPR事業(高田区)(396)
- ・地域資源を活かした高田まちづくり事業(高田区)(515)

その他 2,180

- ・寺町サミット in 飯山への参加
- ・歴史資源活用推進事業を実施するための報酬、共済費、旅費ほかの事務費

決算書 (P152～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

**【事業の成果】**

- ・市民団体等と連携して、雁木や町家、歴史的旧家の魅力を市内外に発信し、歴史資源を活用した誘客と回遊を促進することができた。
- ・雁木整備事業補助金の交付により、市民による雁木の保全につなげることができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

市民団体等と連携しながら、市内に残る貴重な歴史資源である雁木と町家、歴史的旧家の保存と活用に向けた様々な取組の検討が必要である。

**【執行残額について】**

その他：雁木整備事業補助金のうち県外転入者及び子育て世帯を対象とした補助金の利用がなかったことなどによる執行残 516  
地域独自の予算事業の執行残 148  
会計年度任用職員報酬等の執行残 138

(単位：千円)

決算書 (P152～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,841	9,569				208 (寄附金・譲収入)	9,361
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	272	82			190	

**【目的】**

当市の文化振興に資するため、市民が気軽に文化、芸術に親しめる環境づくりを進めるとともに、市民参加が可能な文化事業の充実を図る。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

市民の文化活動推進事業、その他一般事務費 3,440

## ○令和5年度目標

市民の文化・芸術活動の裾野を広げ、地域の「文化の力」の醸成を図る。

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 文化振興に関する情報の収集及び提供

市民の自主的な文化・芸術活動を支援するため、国・県などの各種助成事業について、市ホームページや、文化・芸術活動団体が集う機会等を通じて情報提供を行った。

## (2) 上越まるごと文化祭

市内各地で秋(9月から11月まで)に開催される多彩な文化・芸術の催しを紹介するポスターとリーフレットを作成し、市施設や民間の商業施設に配置することで、広く市民に周知するとともに、高い技術力や表現力を有する文化・芸術団体による上質なパフォーマンスを披露・鑑賞できる「プレミアムパフォーマンス」を開催した。

期 日：令和5年10月15日(日)

会 場：上越文化会館 大ホール

参加者数：502人(鑑賞者415人、出演者7組87人)

## ○目標達成状況

上越まるごと文化祭として作成したリーフレットに掲載した事業の約35%で来場者数が増え、リーフレットの作成が市民の文化・芸術活動の裾野を広げる一助になったほか、「プレミアムパフォーマンス」では、能や雅楽、ダンス、J-POPなど多様なジャンルの団体からパフォーマンスを披露いただくことで、地域の「文化の力」の醸成を図ることができた。

決算書 (P152～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

地域の歴史的・文化的資源の保存と継承 607

○令和5年度目標

郷土の偉人の顕彰活動団体と連携し、地域の歴史的・文化的資源を広く発信する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 郷土の偉人顕彰事業

郷土の偉人の顕彰に取り組むネットワーク団体が実施する顕彰事業を対象とした「郷土の偉人顕彰事業交付金」を新たに創設し、小川未明と前島密を顕彰する2団体に交付するとともに、連携して顕彰事業に取り組んだ。

(2) 高田瞽女顕彰事業

(ア) 高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアー

高田瞽女を顕彰するため、市民団体が取り組む高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアーを支援し、市民等が高田瞽女の歴史や文化に触れる機会を提供した。

期 日：6月11日（日）

テ ー マ：高田瞽女夏の旅の行程を巡る（飯山方面）

参加者数：37人（市内23人、市外14人）

(イ) 瞽女唄CDの制作・販売

平成3年度に市が制作した瞽女唄CDの音源を使用して新たにCDを35セット制作し、完売した。

○目標達成状況

・郷土の偉人や高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、地域固有の歴史的・文化的資源を市民等に広く発信することができた。

地域独自の予算事業 5,522

- ・北部地域の文化・賑わいを創出する事業（高田区）（497）
- ・お馬出しプロジェクト事業（高田区）（264）
- ・「第2回にいがた水墨画フェスティバルの開催」事業（高田区）（605）
- ・高田瞽女の文化の発信事業（高田区）（118）
- ・芳澤謙吉翁顕彰事業（諏訪区）（418）
- ・前島密翁献碑祭101周年事業（津有区）（714）
- ・第14回浦川原和太鼓祭（浦川原区）（690）
- ・川上山里の風コンサート事業（牧区）（413）
- ・チェコ共和国との文化交流事業（吉川区）（1,022）
- ・板倉区の史跡文化財を広め交流人口の増加を狙う事業（板倉区）（613）
- ・地域に残る伝説の紙芝居作成事業（板倉区）（168）

【事業の成果】

- ・市内各地の様々な催しをまるごと文化祭のリーフレットに掲載し紹介することで、市民の活動を知っていただいたり、足を運ぶきっかけにいただくことができた。また、プレミアムパフォーマンスを開催し、出演した文化芸術団体等の高い技術力や表現力を広く市民に紹介することができた。
- ・郷土の偉人や高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、地域固有の歴史的・文化的資源を市民等に広く発信することができた。

決算書 (P152～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・市民の文化・芸術活動への関心を高め、自主的な活動につなげるため、引き続き、市民が文化芸術に触れる機会を提供するとともに、市内各地の文化芸術活動に関する情報の把握と発信に取り組む。
- ・郷土の偉人の顕彰活動をさらに活性化させるため、顕彰団体と連携して偉人顕彰に取り組む。

**【執行残額について】**

事業費節減：会場費の節減等による地域独自の予算事業補助金の残 82

そ の 他：会計年度任用職員報酬、燃料費、備品修繕料等が当初見込みを下回ったことによる執行残 186

地域独自の予算事業補助金の執行残 4

(単位：千円)

決算書 (P152～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
24,183	22,520				1,669 (使用料、謝収)	20,851
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,663			33	1,630	

**【目的】**

- 旧師団長官舎の管理運営：市文化財である明治期の洋風建築を適切に維持管理するとともに、施設の活用を通じて、地域のにぎわい創出及び文化の振興を図る。
- 高田まちかど交流館の管理運営：市文化財である昭和初期の銀行建築を適切に維持管理するとともに、施設の利用促進を通じて、地域のにぎわい創出及び文化の振興を図る。
- ライオン像のある館の管理運営：市文化財である明治期の銀行建築を適切に維持管理するとともに、施設の利用促進を通じて、地域のにぎわい創出及び文化の振興を図る。
- 旧今井染物屋等の管理運営：市文化財である江戸時代末期の町家建築を適切に維持管理するとともに、地域文化の継承と発信の拠点施設として活用する。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

旧師団長官舎の管理運営 4,293

## ○令和5年度目標

入館者数 12,200人

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 文化財の維持管理と地域文化の振興

- ・市文化財である建物を保存するため、定期的に施設の状態を確認するとともに、建物公開を通じて地域文化を発信した。
- ・令和6年能登半島地震で生じた壁面のひび割れ等の修繕

## (2) 民間事業者によるレストランとしての活用

建物公開に加え、令和3年度から民間事業者によるレストランとしての活用を継続し、施設の魅力向上を図った。

決算書 (P152～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
入館者数	12,340人	10,790人	12,200人	8,158人
うち レストラン利用者	2,929人	2,503人		2,226人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	17	14	16	14
	合計	17	14	16	14
②支出	施設維持管理費	2,597	3,305	4,526	4,293
	うち委託料	1,990	2,468	2,727	2,517
	その他	-	-	-	-
	合計	2,597	3,305	4,526	4,293
③公費投入額 (②-①)		2,580	3,291	4,510	4,279
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		209	305	370	525

○目標達成状況

年間入館者数は8,158人(目標12,200人:達成率66.9%)となり、目標を大幅に下回った。

高田まちかど交流館の管理運営 6,761

○令和5年度目標

入館者数 22,800人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設の管理運営

有限会社高田酒類会館に事務室及び会議室を貸し付けるとともに、施設の管理運営業務を委託した。

(2) 街なか回遊の拠点としての活用

街歩きを行う市民や観光客の見学と休憩に利用されたほか、当館及び商店街で開催される催しや観光に関するパンフレットなどを設置し、街なか回遊のための情報提供を行った。

(3) イベント、文化活動などの場の提供

施設管理受託業者である有限会社高田酒類会館や本町商店街が行うイベントの会場として活用されたほか、合唱の練習や各種コンサート、ワークショップなどの文化活動の場として活用され、利用者数が大幅に増えた。

決算書 (P152～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

(4) 「高田まちかどフェスティバル」の開催

バンド演奏や合唱、ダンスなど、市内を中心に活動する個人や団体が出演する「高田まちかどフェスティバル」を年2回開催し、市民が気軽に文化、芸術に触れる場を提供するとともに、街なかのにぎわい創出に取り組んだ。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計画	実績
入館者数		14,838人	22,574人	22,800人	30,786人
うち 貸室利用	利用件数	114件	201件	/	178件
	利用人数	2,541人	6,262人		19,197人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	269	497	273	419
	その他	-	176	168	1,237
	合計	269	673	441	1,656
②支出	施設維持管理費	5,909	7,493	7,321	6,761
	うち委託料	3,579	3,436	3,318	3,108
	その他	678	-	-	-
	合計	6,587	7,493	7,321	6,761
③公費投入額 (②-①)		6,318	6,820	6,880	5,105
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		426	302	302	166

○目標達成状況

年間入館者数は30,786人(目標22,800人:達成率135.0%)となり、目標を大幅に上回った。



高田まちかどフェスティバル 2023 夏の様子



施設管理受託業者によるイベントの様子 (桜とクラフトビール-バル 139-)

決算書 (P152～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

ライオン像のある館の管理運営 4,419

○令和5年度目標

入館者数 5,400人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

日本遺産北前船に関するパネル展示により、直江津の歴史と文化の発信を行ったほか、地域のまちづくり団体が主体となり、まち歩きや<sup>あいちもの</sup>四十物祭り、祇園祭写真展、切り紙細工講習会が催されるなど、施設の活用が図られた。

(2) イベント、文化活動などの場の提供

文化団体等が行う演奏会やマルシェ、「なおえつうみまちアート」の展示会場の一つとして利用されるなど、施設の利用を通じて直江津の街なかのにぎわい創出に取り組んだ。

(3) 修繕

雨漏りが発生していた別館について、屋根の修繕と外壁のコーティング塗装により雨漏りを解消し、建物の長寿命化を図った。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計画	実績
入館者数		7,502人	5,009人	5,400人	5,986人
うち 貸室利用	利用件数	34件	44件	/	51件
	利用人数	5,793人	3,763人		4,895人

・施設管理における市の収支状況

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
②支出	施設維持管理費	1,998	2,429	4,540	4,419
	うち委託料	1,597	1,881	1,829	1,752
	その他	-	-	-	-
	合計	1,998	2,429	4,540	4,419
③公費投入額(②-①)		1,998	2,429	4,540	4,419
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		266	485	841	738

○目標達成状況

年間入館者数は5,986人(目標5,400人:達成率110.9%)となり、目標を達成することができた。

決算書 (P152～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		



あいのもの  
四十物祭りの様子



地元菓子店主催のマルシェの様子

旧今井染物屋等の管理運営 7,047

○令和5年度目標

入館者数 11,600人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 地域文化の継承と発信及び施設の活用促進

- ・地元のバテンレース事業者と連携し、バテンレース制作技術の習得を目的とした講座や初心者向けの入門講座を開催し、技術の継承や発信に取り組んだ。
- ・藍染めや陶芸、紙・布・ガラス・金属などを使ったクラフトの職人・手仕事作家の制作実演や体験受入れなどの活動の場として、施設の活用を促進した。
- ・手仕事文化の継承と発信を図るため、職人展やワークショップ、バテンレースをテーマとした催しを開催した。

(2) 街なかへの誘客と回遊の促進

催しの開催によって街なかへの誘客を図るとともに、町家交流館高田小町や高田世界館、警女ミュージアム高田などの近隣施設の情報を提供し回遊を促した。

○施設の管理実績 ※令和3年4月29日開館

・入館者数及び貸室利用状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計画	実績
入館者数		11,230人	8,918人	11,600人	8,235人
うち 貸室利用	利用件数	112件	127件	/	188件
	利用人数	2,141人	780人		702人

決算書 (P152～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
②支出	施設維持管理費	7,938	5,909	7,236	6,487
	うち委託料	1,519	1,871	2,577	2,201
	その他	-	-	560	560
	合計	7,938	5,909	7,796	7,047
③公費投入額 (②-①)		7,938	5,909	7,796	7,047
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		707	663	672	856

○目標達成状況

イベントの開催数を増やしたが、入館者数の増加につながらず、年間入館者数は8,235人(目標11,600人:達成率71.0%)となり、目標を達成することはできなかった。



バテンレース入門講座の様子



秋の手仕事展の様子

【事業の成果】

- ・それぞれの歴史的建造物の特徴や歴史等を来館者に伝えるとともに、地域や商店街、市民団体と連携し、文化財としての趣をいかした誘客イベント等を開催したことにより、各施設が持つ魅力を改めて認識してもらうことができた。
- ・旧今井染物屋において、雪国高田の風土産業であるバテンレース技術の継承と発信に取り組むとともに、染物やガラス工芸、陶芸など地元を中心に活動する職人や手仕事作家による実演や制作体験のための工房として利活用を図ったことにより、地域文化の発信と継承、まちの賑わいを創出することができた。

決算書 (P152～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・地域や商店街、市民団体等と連携し、各施設の特徴をいかしたイベントや文化イベントの実施などにより、更なる誘客と街なか回遊の促進を図る。
- ・入館者数の目標を達成できなかった旧師団長官舎と旧今井染物屋については、周辺施設等と連携した新たなイベントを実施するなどして、誘客の促進を図る。
- ・引き続き、来館者が安全・安心に利用できるよう、各施設の適切な維持管理を行うとともに、各施設や地域の歴史・文化などの情報について、市ホームページやSNS等を活用し、市内外に広く発信する。

**【執行残額について】**

入札差金：施設管理委託料 33

その他：除雪委託等の実績が見込みを下回ったことによる施設管理委託料の執行残 833  
 会計年度任用職員報酬、光熱水費等が当初見込みを下回ったことによる執行残 797

(単位：千円)

決算書 (P154～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
54,635	49,483				4,502 (使用料助)	44,981
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
—	5,152		1,072	178	3,902	

**【目的】**

- 町家交流館高田小町の管理運営：郷土の歴史的建造物を活用し、市民が集い、交流する場を提供することにより、にぎわいと活力のある地域社会の形成を図る。
- 坂口記念館の管理運営：坂口記念館の適切な維持管理を行うとともに、文化勲章受章者で応用微生物学の世界的権威である坂口謹一郎博士を顕彰し、教育、学術及び文化の振興を図る。
- 小川未明文学館の管理運営：小川未明に関わる資料等の公開や各種講座の開催を通じて、未明とその作品に対する市民の関心を高めるとともに、郷土が生んだ“日本近代童話の父”小川未明を市内外に発信する。
- 小川未明文学賞の開催：小川未明文学賞の作品を公募し、小川未明の文学精神である「人間愛と正義感」を継承する優秀な創作児童文学作品を送り出すことにより、子どもたちの心に夢と希望を育むほか、市内外に向けて小川未明及び当市の情報を発信する。
- ミュゼ雪小町の管理運営：芸術活動及び文化交流の場を提供することにより、市民による芸術文化の振興を図り、にぎわいと活力ある地域社会の形成に資する。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

町家交流館高田小町の管理運営 11,976

## ○令和5年度目標

入館者数 23,700人

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 街なか回遊の拠点としての活用

- ・街歩きを行う市民や観光客の休憩に利用されたほか、周辺エリアの回遊マップや各施設のパンフレット等を設置し、観光に関する情報提供を行った。
- ・高田世界館や瞽女ミュージアム高田等の近隣施設と連携し、バスツアーなどの来訪客の受入れを行った。

## (2) 集会・イベント、文化活動などの場の提供

会議や集会、習い事など、交流や文化活動、憩いの場を提供した。

## (3) 高田の歴史・文化の紹介

市民団体と連携し、雁木と町家等の懐かしい高田ならではの街並みのほか、かつての大雪の様子を伝える写真などを展示し、高田の歴史や文化を市民や観光客等に紹介した。

決算書 (P154～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計画	実績
入館者数		20,889人	22,306人	23,700人	25,210人
うち 貸室利用	利用件数	1,196件	1,078件		1,148件
	利用人数	10,418人	10,319人		13,216人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	1,127	1,110	1,549	1,298
	その他	36	44	21	45
	合計	1,163	1,154	1,570	1,343
②支出	施設維持管理費	9,383	10,481	12,679	11,976
	うち委託料	7,605	7,970	8,832	8,227
	その他	-	-	-	-
	合計	9,383	10,481	12,679	11,976
③公費投入額(②-①)		8,220	9,327	11,109	10,633
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		394	418	469	422

○目標達成状況

入館者数は25,210人(目標23,700人:達成率106.4%)となり、目標を達成することができた。

坂口記念館の管理運営 10,720

○令和5年度目標

入館者数 3,500人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 坂口謹一郎博士の顕彰

- ・博士の生誕日(11月17日)を含めた3日間を入館無料デーとして、博士の業績に気軽に触れる機会を提供した。
- ・入館無料デーに合わせ、酒杜り館2階の一部を展示替えしたほか、坂口博士ゆかりの聖徳太子像を3日間特別展示した。

(2) 定期的な事業の開催

- ・4月に「坂口謹一郎博士と酒とつばきの祭典」、2月から3月にかけて雛人形を展示する「ひなまつり」を開催したほか、地域の民間団体と連携し、コロナ禍で中止していた「新酒まつり」を開催した。

決算書 (P154～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

(3) 集会、文化活動等の場の提供

- ・坂口記念館において、地域独自の予算事業で挿し木講座や塩麴づくり体験のイベントを実施したほか、公民館事業の活動の場として利用された。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
入館者数		3,238人	3,544人	3,500人	3,631人
うち 貸室利用	楽縫庵占用利用件数	81件	75件	/	78件
	楽縫庵占用利用者数	812人	793人		863人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	706	716	856	699
	その他	57	32	49	18
	合計	763	748	905	717
②支出	施設維持管理費	7,777	7,731	10,886	10,643
	うち委託料	5,205	5,272	5,311	5,307
	その他	-	-	131	77
	合計	7,777	7,731	11,017	10,720
③公費投入額 (②-①)		7,014	6,983	10,112	10,003
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		2,166	1,970	2,889	2,755

○目標達成状況

入館者数は3,631人(目標3,500人:達成率103.7%)となり、目標を達成することができた。

小川未明文学館の管理運営 5,199

○令和5年度目標

入館者数 23,000人

決算書 (P154～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

○実施内容、これまでの経過等

(1) 特別展の開催

名称	会期	内容	入館者数
第31回小川未明文学賞受賞記念展	4月8日(土)～ 5月7日(日)	過去の大賞・優秀賞受賞作品の紹介や作品の講評、贈呈式の様子を展示	1,568人
山福朱実原画・吉田延絵画展—未明童話「砂漠の町とサフラン酒」など—	10月7日(土)～ 12月24日(日)	絵本の原画22点、絵画9点、版画7点を展示	5,163人
小川未明のお宝展	令和6年1月25日(木)～ 4月21日(日)	文学館や小川家の所蔵資料から、屏風や自筆原稿、身の回り品などの資料を展示	5,086人

(2) 各種講座等の開催

① 文学館講座

開催日	演題	講師	入館者数
10月21日(土)	竹久夢二と小川未明～紡がれる大正ロマンの美、二人の交流～	石川桂子氏(竹久夢二美術館学芸員)	35人
10月28日(土)	金子みすゞのうれしいまなざし—みんなちがって、みんないい。—	矢崎節夫氏(金子みすゞ記念館館長)	65人
11月18日(土)	小川未明と宮沢賢治の接点	小埜裕二氏(上越教育大学教授・小川未明文学館専門指導員)	31人

② 朗読研修会

期 日：6月17日(土)、6月24日(土)、7月1日(土)

講 師：橘由貴氏(朗読療法士・ヴォイスアーティスト)

受講者数：26人

③ 朗読ボランティアによるおはなし会等

名称	内容	参加者数
文学館おはなし会	文学館の入館者を対象に未明童話を朗読(23回開催)	214人
出張おはなし会	市内の小学校及び放課後児童クラブを訪問し、未明童話を朗読(小学校8回、放課後児童クラブ13回開催)	678人
特別展おはなし会	特別展「山福朱実原画・吉田延絵画展」の開催に合わせて、パネルシアターや映像・音楽を用いて未明童話を朗読(10月29日(日)開催)	14人
小川未明文学館こども祭	未明に関するクイズや、未明童話に登場するモチーフを使った折り紙や切り紙などの工作を実施(5月13日(土)開催)	172人
未明童話の小冊子の配布	月替わりで1作品ずつ冊子にした未明童話を無償配布(随時)	707人

決算書 (P154～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

(3) 文学館資料の収集・調査及び活用

未明の自筆資料、初版本、近代文学・児童文学に関する資料・図書等の収集及び調査をしたほか、文学館の所蔵資料を活用した展示を行った。

(4) 文学館専門指導員の設置

文学館の事業や運営、資料収集、展覧会の企画内容などについて、小川未明研究の第一人者である小埜裕二専門指導員（上越教育大学教授）から指導や助言を受けながら、必要な資料の収集や効果的な資料展示を行った。

(5) 市民ギャラリーの貸館

・入館者数及びギャラリー貸室利用状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計画	実績
入館者数		20,190人	23,096人	23,000人	25,741人
うち 貸室利用	利用件数	12件	12件	/	9件
	利用人数	6,255人	5,166人		5,514人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	332	262	339	199
	その他	40	154	45	41
	合計	372	416	384	240
②支出	施設維持管理費	3,216	3,351	3,651	3,446
	うち委託料	-	-	-	-
	その他	2,015	4,565	2,111	1,753
合計		5,231	7,916	5,762	5,199
③公費投入額（②－①）		4,859	7,500	5,378	4,959
④利用者1人当たりの 公費投入額（単位：円）		241	325	234	193

○目標達成状況

入館者数は25,741人（目標23,000人：達成率111.9%）となり、目標を達成することができた。

決算書 (P154～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

小川未明文学賞の開催 4,266

○令和5年度目標

小川未明文学賞応募数 570編

○実施内容、これまでの経過等

第32回小川未明文学賞

小川未明文学賞委員会へ交付金を交付

<応募数> 553編 (短編部門309編・長編部門244編) (うち市民からの応募6編)

<受賞作> 大賞 (1編) 「如月さんちの今日のツボ」 (長編部門)

作者 古都こいと氏 (東京都)

優秀賞 (1編) 「まよいねこトラと五万五十五歩」 (短編部門)

作者 やすふみえ氏 (千葉県)

<贈呈式> 開催日：令和6年3月27日 (水)

会場：学研ビル ホール (東京都)

内容：小川未明文学賞最終選考委員による講評、受賞者の挨拶



最終選考委員による講評の様子



大賞受賞者の挨拶の様子

○目標達成状況

小川未明文学賞応募数は553編 (目標570編：達成率97.0%) となり、目標を達成できなかった。

ミュゼ雪小町の管理運営 16,977

○令和5年度目標

入館者数 45,000人

○実施内容、これまでの経過等

・文化・芸術活動などの場の提供

美術館的仕様のギャラリーや、集会機能を持つ多目的室の貸室を行い、市民や市民団体等が開催する展覧会やダンスの練習、会議等の会場として利用された。

決算書 (P154～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

○施設の管理実績

- ・入館者数及び貸室利用状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計画	実績
入館者数		38,624人	46,486人	45,000人	46,277人
うち 貸室利用	利用件数	510件	535件		532件
	利用人数	9,896人	13,391人		12,820人

※複数日の貸室の場合は1日1件でカウント、使用場所が複数の場合は1件でカウント

- ・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	3,025	2,500	2,148	2,202
	その他	57	50	946	-
	合計	3,082	2,550	3,094	2,202
②支出	施設維持管理費	14,191	16,433	20,505	16,977
	うち委託料	7,211	8,749	8,505	8,505
	その他	-	-	-	-
	合計	14,191	16,433	20,505	16,977
③公費投入額(②-①)		11,109	13,883	17,411	14,775
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		288	299	387	319

○目標達成状況

入館者数は46,277人(目標45,000人:達成率102.8%)となり、目標を達成した。

地域独自の予算事業 345

- ・坂口記念館の特色を活かした講座事業(頸城区)(22)
- ・花の苗 里親育成事業(頸城区)(323)

【事業の成果】

- ・資料展示を通じて、坂口謹一郎博士の功績や人となりを広く紹介するとともに、発酵を中心とした講座や挿木講座を通じて、坂口記念館の魅力づくりに取り組み、利用者増につなげることができた。
- ・特別展や各種講座、おはなし会などの開催を通して、市民から小川未明の業績に触れてもらい未明作品に親しんでもらうことができた。
- ・小川未明文学賞の募集要項を新たに全国文学館協議会加盟館や都道府県立図書館、大学文芸部及び文芸サークル等に送付し、若年層への周知を強化した結果、学生の応募が昨年度比で3件増加した。
- ・ミュゼ雪小町のギャラリーや多目的室の貸室を通じ、市民や市民団体等の文化・芸術活動の場を提供することができた。

決算書 (P154～P155)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・町家交流館高田小町を拠点とする街なか回遊を促進するため、引き続き、高田世界館や瞽女ミュージアム高田、旧今井染物屋などの近隣施設と連携し、地域の歴史資源の魅力を発信していく。
- ・より多くの方に坂口記念館を利用していただけるように、雪椿など季節の花やイベント情報をSNSで発信するとともに、各種講座を開催し誘客を図る。
- ・小川未明の作品や業績に関して市民の興味や認知度を高めるため、引き続き、小川未明文学館で開催する特別展や特集展示、各種講座の開催に取り組む。
- ・小川未明文学賞について、メールでの応募を可能とすることにより、より手軽に応募できる環境を整え、応募数の増加を目指す。

【執行残額について】

事業未実施：坂口記念館入館券増刷用の印刷製本費 52  
 童話創作講座の講師が体調不良のため講座を開催できなかったことによる報償金、費用弁償の残 120  
 ミュゼ雪小町のLED灯交換について、交換が必要となる灯数を精査し、部屋の大きさに適した明るさとするため、修繕を見送ったことによる修繕料の残 900

入札差金：印刷製本費、施設管理委託料、印刷機借上料、工事請負費、備品購入費 178

その他：会計年度任用職員報酬・費用弁償等が当初見込みを下回ったことによる残 695  
 町家交流館高田小町の除雪委託等の実績が見込みを下回ったことによる施設管理委託料の執行残 582  
 ミュゼ雪小町が入居する、あすとぴあ高田に係る共益費負担金等が見込みを下回ったことによる残 2,625

(単位：千円)

決算書 (P286～P287)	7款1項1目 商工総務費	所管課等	観光振興課
事業名	露店市場運営事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
17,324	16,304				5,979 (手数料、謝収)	10,325
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,020	141			879	

**【目的】**

百年以上続く生活文化である朝市の開設、観桜会などのイベントにおける移動露店の開設により、市民及び来訪者の交流、市内経済の活性化を目指す。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和5年度目標

朝市1回当たりの平均出店数：121店

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 朝市の開設

## ・常設露店

朝市の開催

(合併前上越市) 二・七の市、三・八の市、四・九の市

(柿崎区) 一の日市

## ・常設露店の推移

常時出店数

	合併前上越市			柿崎区	合計
	二・七の市	三・八の市	四・九の市	一の日市	
令和3年度	34店	31店	27店	9店	101店
令和4年度	31店	26店	22店	6店	85店
令和5年度	25店	22店	17店	5店	69店

決算書 (P286～P287)	7款1項1目 商工総務費	所管課等	観光振興課
事業名	露店市場運営事業		

臨時出店数 (1回あたりの平均臨時出店者数)

	合併前上越市			柿崎区	合計
	二・七の市	三・八の市	四・九の市	一の日市	
令和3年度	18店	9店	9店	2店	38店
令和4年度	17店	8店	8店	3店	36店
令和5年度	12店	8店	7店	2店	29店

- ・上越市露店市場運営委員会の開催  
(委員構成…学識経験者、関係行政機関の代表、市場開設区域内の町内会長の代表、露店出店者の代表、市場開設関係団体の代表、公募に応じた市民 合計20人)  
<令和5年11月30日(木)>  
露店市場出店状況の報告について  
朝市の活性化に向けた取り組みについて  
意見交換
- ・朝市活性化検討会の開催  
(委員構成…市場管理受託者、露店出店者の代表)  
<令和5年11月10日(金)>  
入込調査の結果等について報告  
朝市活性化に向けた取組等について検討
- ・無料駐車券交付  
朝市への集客と朝市利用による迷惑駐車解消を図るため、朝市で商品を購入した駐車場利用者に対し、本町商店街駐車場(3・4・5丁目)の30分無料駐車券の配布を行った。

	高田地区の朝市		合計
	二・七の市	四・九の市	
令和3年度	86枚	289枚	375枚
令和4年度	123枚	250枚	373枚
令和5年度	100枚	226枚	326枚

- ・イベントの開催  
若年層やファミリー層など幅広い世代へ朝市を知ってもらうことを目的に、パンやスイーツなど出店品目を限定したイベントを5回開催した。

イベント名	実施日	開催場所	出店数
スイーツまつり	6月18日(日)	三・八の市	11店
フリマまつり	7月17日(月・祝)	二・七の市	5店
米粉スイーツまつり	9月23日(日)	三・八の市	7店
米粉スイーツまつり	10月9日(月・祝)	四・九の市	8店
フリマまつり	10月29日(日)	四・九の市	4店

決算書 (P286～P287)	7款1項1目 商工総務費	所管課等	観光振興課
事業名	露店市場運営事業		

(2)移動露店

・会場及び移動露店出店数

会場	令和3年度	令和4年度	令和5年度
高田城址公園観桜会	40店	40店	61店
八坂神社春祭礼	中止	中止	中止
上越まつり・高田本町	中止	中止	16店
上越まつり・三八通り	中止	45店	49店
上越まつり・八坂神社	中止	16店	11店
謙信公祭	中止	14店	7店
坂田池観桜会（柿崎区）	中止	中止	11店
お引き上げ商工まつり（柿崎区）	中止	51店	77店
納涼花火大会（柿崎区）	中止	10店	10店
菅原神社例大祭（清里区）	中止	中止	中止

○目標達成状況

常設露店では、高齢化で出店を取りやめる方やコロナ禍にキッチンカーなどで新たに出店された方が、別の販路を開拓されたことなどから、朝市1回当たりの平均出店数が98店（目標121店：達成率約81%）となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

令和3年度から継続して実施している、パンやスイーツ等をテーマとしたイベントを開催したことにより、若者やファミリー層など幅広い世代の来場があり、市場の認知度が向上し、活性化を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・出店者の高齢化や後継者不足等により年々常時出店者数が減少していることから、新たな業種の掘り起こしなど、関係団体と朝市の利用促進や出店者の確保に向けた取り組みについて協議していく。
- ・今まで朝市に足を運んだことのない人や、朝市を認知していない人に対して、来場機会の増加を図る取組を朝市組合と協議しながら進めていく。

【執行残額について】

入札差金：事業費節減 141  
 その他：事業実施に伴う執行残 879

(単位：千円)

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
123,052	114,823				7,376 (譲入)	107,447
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
—	8,229	402	509	61	7,257	

## 【目的】

観光情報の提供、観光資源のPR、関係団体の取組への支援などを通じ、観光の振興と多様な交流機会の創出を図る。

## 令和5年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観光案内運営事業 19,617

○令和5年度目標

観光案内所利用実績及び目標

・窓口案内人数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (目標)
高田駅前観光案内所	2,254人	2,873人	4,009人	5,000人
直江津駅前観光案内所	4,518人	5,295人	6,573人	7,000人
上越妙高駅観光案内所	3,220人	3,650人	5,799人	7,000人
合計	9,992人	11,818人	16,381人	19,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 観光案内所運營業務委託料 (14,953)

案内所名	開設時間	休日
高田駅前観光案内所	午前10時～午後4時※観桜会会期中 は午前10時～午後7時	12月31日・1月1日
直江津駅前観光案内所	(4月1日～10月31日) 午前9時30分～午後5時30分 (11月1日～3月31日) 午前10時～午後5時	12月31日・1月1日
上越妙高駅観光案内所	午前9時～午後6時	なし

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

・観光案内所案内実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	窓口案内人数	窓口案内人数	窓口案内人数
高田駅前観光案内所	2,873人	4,009人	4,414人
直江津駅前観光案内所	5,295人	6,573人	7,449人
上越妙高駅観光案内所	3,650人	5,799人	6,566人
合計	11,818人	16,381人	18,429人

(2) 春日山案内職員に係る人件費等 (1,853)

春日山城跡に訪れる観光客に対して、春日山に関する案内のほか、周辺施設や市内の観光案内等を行った。

※案内実施期間：4月1日から10月31日まで（午前9時から午後4時まで）

(3) 春日山駐車場誘導業務委託料 (1,931)

混雑するゴールデンウィーク及びお盆期間中において、シャトルバスの運行及び周辺駐車場への誘導を行った。

(4) 上越妙高駅デジタルサイネージ広告掲載料 (880)

上越妙高駅自由通路に設置されているデジタルサイネージを活用し、駅利用者に対し、時季に合わせたおすすめ観光スポットなどを発信した。

○目標達成状況

旅行及びビジネス利用において、コロナ禍からの完全回復に至らなかったことから、全体では目標を達成することができなかったが、案内人数は全体で18,429人となり、昨年度より2,048人増加し、目標に対して約97%の達成率となった。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

観光物産宣伝推進事業 19,880

○令和5年度目標

入込数：754,900人

○実施内容、これまでの経過等

・観光物産展開催実績

物産展名称	開催場所	開催時期	主催者	令和5年度入込数	
				目標	実績
いわない怒寿まつり	岩内市	8月5日(土)～6日(日) (2日間)	岩内町	48,000人	29,293人
産業フェアしずおか	静岡市	11月25日(土)～26日(日) (2日間)	静岡市	77,800人	34,300人
観桜会物産展 (第98回)	高田城址公園	3月29日(水)～4月12日 (水) (15日間)	上越市	600,000人	410,000人
観桜会物産展 (第99回)	高田城址公園	令和6年3月29日(金)～ 4月14日(日)(17日間)	上越市	※参考 600,000人	※参考 418,000人
謙信公祭物産展	春日野駐 車場	8月19日(土)～20日(日) (2日間)	上越市	6,000人	6,372人
姉妹都市と上越 市の観光と物産 展	直江津屋 台会館	9月30日(土)～10月1日 (日) (2日間)	上越市	23,100人	8,016人
合 計				754,900人	487,981人

・入込数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入込数	231,940人	419,471人	487,981人

○目標達成状況

・コロナ禍前の規模で開催したが、来場者数は487,981人(目標754,900人：達成率約65%)となり、目標を大幅に下回った。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

上越観光コンベンション協会補助金 40,694

○令和5年度目標

スポーツ大会や学術会議、コンクールなどのコンベンション開催件数：11件  
(2年度…2件、3年度…6件、4年度…9件)

○実施内容、これまでの経過等

(1) 上越観光コンベンション協会補助金

上越観光コンベンション協会の体制及び活動の充実を図るため、観光情報サイト「上越観光Navi」の運営、旅行会社への観光営業活動、メディアを活用した広告宣伝活動に係る経費、及び職員人件費や観光ボランティアガイドの養成に係る経費の一部の助成を行った。

(2) コンベンション開催誘致事業

交流人口の拡大と地域経済の活性化を促進するため、体操やバスケットボールなどのスポーツ大会や大学生によるワークショップ、学会の開催費及びスポーツ合宿に係る宿泊費の一部を補助する取組について事業費を支援した。

(3) 旅行商品造成促進事業

観光振興による市内経済の活性化を図るため、旅行会社が企画する市内宿泊又は立ち寄りを伴う募集型旅行に対し、経費の一部を補助する取組について事業費を支援した。

・スポーツ大会などのコンベンション開催件数及び募集型旅行商品実施件数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
スポーツ大会などの コンベンション開催件数	3件 (参加者：1,340人)	11件 (参加者：3,888人)	10件 (参加者：4,282人)
スポーツ合宿件数	3件	4件	10件
募集型旅行実施件数 (バス台数)	67台	113台	135台

○目標達成状況

令和4年度に市内で開催された4件のスポーツ大会が、令和5年度は他県で開催されたことから、コンベンションの開催件数は10件で目標を達成しなかったが、スポーツ合宿は大幅に増加し、募集型旅行実施件数(バス台数)も約2割増加した。

観光振興総務管理費 7,779

○実施内容、これまでの経過等

- ・会計年度任用職員報酬等 (5,962)
- ・郵便料、運搬料 (180)
- ・庁用自動車維持・運行経費 (847)
- ・その他旅費、消耗品費、土産代など (790)

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

各区の観光振興対策事業 9,556

安塚区 695

○令和5年度目標

観光協会事業入込数：7,000人

○実施内容、これまでの経過等

安塚観光協会補助金(695)

- ・安塚区内への来訪者の増加と経済効果の拡大を図るため、安塚観光協会の活動を支援した。
- ・灯の回廊 安塚キャンドルロードや山のうえ雪まつりへの協力を行い、集客を図ったほか、新たに安塚観光協会のホームページを制作するなど、観光来場客の確保に取り組んだ。

	令和5年度		
	実施日	目標	実績
山のうえ真夏の雪まつりへの協力 (冷や汁サービスを実施)	8月26日(土)	1,000人	2,000人
信越トレイルの利用促進 (やすづか彩とりどり秋祭り企画としてハイキングイベントを実施)	10月1日(日)	50人	19人
東京都内物産イベントへの参加(江東区民まつりでの物販・観光PR)	10月14日(土) (15日荒天のため中止)	—	—
観光客誘客事業 ・スキー場オープンイベント(豚汁サービス) ・ホームページの制作(~令和6年度)	12月24日(日)	300人	310人
灯の回廊・安塚キャンドルロード(雪茶屋の支援)及び山のうえ雪まつりへの協力	2月24日(土)	5,000人	4,500人
田舎体験事業(田舎体験インストラクターを派遣)	—	650人	586人
区内観光案内看板整備事業(虫川大杉駅掲示板等の維持管理)	通年	—	—
合計		7,000人	7,415人

○目標達成状況

安塚区の特徴をいかした各種イベントへの参画や安塚区の観光PR・情報発信等により集客を図り、目標を達成することができた。

牧区 286

○令和5年度目標

観光施設入込数：13,350人

○実施内容、これまでの経過等

牧ふるさと観光振興会補助金(286)

- ・牧区の観光資源や各種イベントを広域的にPR活動し、区外からの誘客や交流人口の増加を図るため、牧区ふるさと観光振興会の活動を支援した。
- ・各種物産展への出店やオリジナル米袋の米販売などにより、牧区観光のPR活動を支援した。

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響緩和により、施設の入込数が目標に対して 15,449 人増となり、目標を達成することができた。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
牧湯の里深山荘	8,071 人	11,111 人	19,397 人
ふるさと村	7,043 人	8,022 人	7,300 人
牧ふれあい体験交流施設	986 人	1,408 人	2,102 人
合計	16,100 人	20,541 人	28,799 人

柿崎区 3,551

○令和 5 年度目標

- ・海水浴場入込数：6,000 人
- ・観光協会事業入込数：45,290 人

○実施内容、これまでの経過等

- 米山山頂避難小屋連絡協議会負担金 (428)  
避難小屋等の維持管理及び山頂の環境整備に要する費用の負担金  
(米山山頂避難小屋連絡協議会：柏崎市、上越市(柿崎区)、柏崎山岳会、柿崎山岳会、  
柏崎観光協会、柿崎観光協会、柿崎区下牧町内会)
- 柿崎観光協会補助金 (2,520)  
柿崎区の観光振興を担う観光協会の活動を支援した。
- その他車両経費 (603)  
庁用車の燃料費、リース料、車検点検修繕費、北杜市交流事業等

		令和 5 年度			
		実施日	目標	実績	
柿崎中央海水浴場		7 月 15 日(土)～ 8 月 20 日(日)	6,000 人	5,453 人	
柿崎観光協会事業	坂田池観桜会	4 月 1 日(土)～ 16 日(日)(16 日間) 9 日(日)イベント 開催	2,000 人	1,800 人	37,318 人
	米山山開き登山	5 月 28 日(日)	140 人	79 人	
	お引き上げ商工 まつり	6 月 20 日(火)～ 22 日(木)(3 日間)	36,000 人	28,109 人	
	観光地引網	7 月 30 日(日)	100 人	中止	
	柿崎区納涼花火大会	8 月 11 日(金・祝)	7,000 人	7,300 人	
	城山(猿毛城跡)登山	11 月 3 日(金・祝)	50 人	30 人	
合計			51,290 人	42,771 人	

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

・入込数の推移

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入込数	7,210 人	33,557 人	42,771 人

○目標達成状況

・柿崎中央海水浴場

例年より早く梅雨が明け、新型コロナウイルス感染症も 5 類に移行したことから、海水浴客の増加を期待していたが、猛暑の影響により海水浴客の入込みが伸び悩み、目標を達成することができなかった。

・柿崎観光協会事業

坂田池観桜会では 4 年ぶりにイベントを開催することができた。また、お引き上げ商工まつりは新型コロナウイルス感染症により中止や県内露店の限定出店から規制のない露店出店ができた半面、出店数が伸び悩み目標を達成することができなかった

大潟区 2,737

○令和 5 年度目標

- ・鵜の浜温泉の宿泊者数：34,000 人
- ・鵜の浜海水浴場・人魚館等を含めた日帰り客数：134,000 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 大潟観光協会補助金 (2,737)

大潟区の観光振興の中心的な役割を担う観光協会の活動を支援した。

(2) 鵜の浜温泉まつり実行委員会補助金 (-)

地域独自予算を活用し色彩音楽花火を実施したため、鵜の浜温泉まつりの開催を見送った。

		令和 5 年度			
		目 標		実 績	
鵜の浜温泉の宿泊者数		34,000 人		24,358 人	
日帰り客数	鵜の浜温泉の日帰り客数	1,700 人	134,000 人	2,917 人	115,531 人
	鵜の浜海水浴場	36,000 人		24,375 人	
	鵜の浜人魚館	96,300 人		88,239 人	
合 計		168,000 人		139,889 人	

・入込数の推移

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入込数	118,801 人	146,993 人	139,889 人

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

○目標達成状況

・鶴の浜温泉の宿泊者数

令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し行動制限が緩和したことで、観光客の増加を期待していたが、伸び悩んだ。また、令和 4 年 12 月末でホテル 1 軒が廃業となったことも影響し、目標を達成することができなかった。

・鶴の浜海水浴場・人魚館等を含めた日帰り客数

夏の猛暑と海水浴期間後半の天候不順が影響し、目標を達成することができなかった。

頸城区 1,000

○令和 5 年度目標

観光協会事業入込数：9,590 人

○実施内容、これまでの経過等

頸城区観光協会補助金 (1,000)

頸城区観光協会だよりの発行、イベント情報の発信、イベントの実施などの活動を支援した。

	令和 5 年度		
	実施日	目 標	実 績
外国人住居者が参加するファーマーズマーケット	7 月 8 日 (土) ～ 9 日 (日) (2 日間)	-	2,000 人
頸城の祭典事業	8 月 6 日 (日)	8,200 人	5,600 人
雁金城狼煙上げ支援事業	8 月 19 日 (土)	50 人	50 人
大池まつり開催事業	9 月 23 日 (土・祝)	1,100 人	2,500 人
芋煮会	11 月 17 日 (金)	40 人	30 人
大池・小池整備事業	11 月 21 日 (火)	40 人	40 人
バスツアー	12 月 14 日 (木)	40 人	9 人
月見の会	中止	40 人	-
頸城の観光資源を学ぶ会	1 月 26 日 (金)	-	45 人
新酒を愉しむ会	2 月 22 日 (木)	40 人	27 人
大池・小池整備事業	3 月 25 日 (月)	40 人	40 人
観光情報発信等	通年	-	-
合 計		9,590 人	10,341 人

・イベント入込数の推移

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入込数	206 人	9,533 人	10,341 人

○目標達成状況

事業内容の見直しや新規イベントを開催するなどしたことから、目標に対し 751 人増となり目標を達成することができた。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

吉川区 424

○令和5年度目標

観光協会事業入込数：2,500人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 吉川観光協会補助金(424)

吉川区の観光振興を推進する観光協会の活動を支援した。

(2) 東京都荒川区(友好都市)における物産販売等(-)

東京都荒川区で開催の「第37回川の手荒川まつり」のふるさと物産展に参加を予定していたが、参加団体の予定が合わず参加を見送った。

	令和5年度		
	実施日	目標	実績
尾神しだれ桜まつり	4月1日(土)～9日(日) (ライトアップ)(9日間) 4月2日(日)イベント開催	300人	400人
よしかわ道の駅まつり「サマーフェス」	7月17日(月・祝)	400人	400人
吉川テラス(出店)	中止	200人	-
よしかわやったれ祭り(出店)	8月5日(土)	300人	300人
尾神岳を楽しむ集い「山の上フェス」	8月11日(金・祝)	200人	300人
吉川観光協会長杯争奪パラグライダー大会	10月7日(土)～8日(日) (2日間)	200人	200人
尾神岳散策会「山頂でトレッキング」	10月8日(日)	100人	57人
尾神そば早食い選手権	10月28日(土)	100人	100人
天岩戸尾神岳伝説記念講演会	11月11日(土)	100人	100人
道の駅新そばまつり(郷土料理を食する会)	12月2日(土)	500人	400人
新酒と料理を楽しむ会(郷土料理を食する会)	3月9日(土)	100人	160人
合計		2,500人	2,417人

・入込数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入込数	1,500人	1,576人	2,417人

○目標達成状況

・例年実施していた吉川テラスの中止や、郷土料理を食する会(新そばまつり)を規模縮小で開催したことにより、目標を達成することができなかった。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

- ・新たなイベントとして、よしかわ道の駅まつり「サマーフェス」や尾神岳を楽しむ「山の上フェス」などを開催し、多くの参加者で賑わった。

中郷区 396

○令和5年度目標

観光協会事業入込数：3,000人

○実施内容、これまでの経過等

中郷観光協会補助金（396）

中郷の歴史と文化の継承につながる活動として縄文体験や文化体験など、小中学生を対象にした事業を行い、地域愛を高め、中郷の良さを再発見することで住み続けたい街に発展することに寄与するため、中郷観光協会の活動を支援した。

	令和5年度		
	実施日	目標	実績
松ヶ峯周辺のライトアップ	4月8日(土)～23日(日) (16日間)	—	—
さくらを楽しむ会	4月16日(日)	300人	200人
【縄文公園体験イベント】 縄文文化への継承	8月5日(土)、8月23日(水) (2日間)	100人	100人
【夏休みわくわく体験教室】 子供参画の中郷文化体験や郷土料理体験教室	8月5日(土)	1,200人	1,200人
二本木駅スイッチバック活性化事業	9月17日(日)	800人	200人
【Nakago Snow Festa】 中郷特有の雪を使ったイベント	2月10日(土)	600人	300人
合計		3,000人	2,000人

・イベント入込数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入込数	630人	1,650人	2,000人

○目標達成状況

目標を達成することはできなかったが、イベントの種類や回数を増やしたことにより、例年に比べ入込数は増加し、また、県外・区外からの来場者が多く、これからの期待できる結果となった。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

板倉区 400

○令和5年度目標

ゑしんの里記念館入込数：8,000人

○実施内容、これまでの経過等

ゑしんの里観光公社補助金(400)

ゑしんの里記念館機能強化事業として市民ギャラリー展示会及び記念館独自イベントの実施、信越トレイルのPR、そばの消費拡大促進事業及び新たな特産品として十割そば乾麺の開発を支援した。

	令和5年度		
	実施日	目標	実績
特産品販売	毎月第3土曜日(12月～2月は休止)	2,000人	1,556人
キャットツアー写真展	8月10日(木)～8月31日(木)(22日間)	500人	524人
サイエンスショー	8月19日(土)	50人	11人
増村朴齋展	9月23日(土・祝)～10月9日(月・祝) (17日間)	500人	381人
雛人形展	1月28日(日)～3月10日(日)(43日間)	1,000人	632人
一般入館者		3,950人	6,071人
合計		8,000人	9,175人

・ゑしんの里記念館入込数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入込数	7,280人	8,063人	9,175人

○目標達成状況

板倉特産品販売、光ヶ原高原キャットツアー写真展、上越科学館と連携して実施したサイエンスショーの他に、令和5年10月28日に板倉特産品販売会と同時開催したフリーマーケットや令和6年1月28日から3月10日に雛人形展を行い、目標を達成することができた。

名立区 67

○令和5年度目標

交流人口の拡大を目指す区内観光団体の活動を支援することにより、観光振興の推進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

名立区イベント交流事業補助金(67)

友好交流を続けている長野県東御市で開催された「火のアートフェスティバル」に参加し、名立区特産品の販売や名立区のPRを行った。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

○目標達成状況

実施主体である「東御市との交流実行委員会」に対し支援することで、「火のアートフェスティバル」に参加し、名立区特産品の販売や名立区のPRを行うことで、両市の交流が図られ、目標を達成することができた。

地域独自の予算事業 17,297

- ・上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業（和田区）（483）
- ・「雪まつり（キャンドルイベント）」開催による地域交流・地域活性化事業（高土区）（2,389）
- ・直江津写真フェア事業（直江津区）（334）
- ・谷浜・桑取区のガイドマップ作成事業（谷浜・桑取区）（380）
- ・山のうへの雪まつり事業（安塚区）（950）
- ・山のうえ真夏の雪まつり事業（安塚区）（939）
- ・うらがわら雪あかりフェスタ事業（浦川原区）（161）
- ・地域の宝を活かした「薬師 Re:Project」地域活性化事業（大島区）（960）
- ・地域活性化促進事業（まき深山のともしび）（牧区）（787）
- ・大潟区散策ルート作成事業（大潟区）（1,208）
- ・鶴の浜温泉色彩音楽花火事業（大潟区）（3,774）
- ・大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業（頸城区）（953）
- ・大池の四季を感じる散策ツアー事業（頸城区）（424）
- ・吉川観光重点2地区活性化推進事業（吉川区）（2,288）
- ・灯火のイベント事業（三和区）（365）
- ・雪を活かしたまちづくり推進事業（名立区）（157）
- ・名立ウォーキングツーリズム事業（名立区）（229）
- ・名立区の魅力を創造し発信する事業（名立区）（516）

【事業の成果】

- ・上越観光コンベンション協会において、市内で開催される各種コンベンションや募集型企画旅行に対して支援を行い、観光振興による市内経済の活性化に寄与することができた。
- ・各区観光協会が開催するイベントや特産物の販売促進、観光PRなどに対し支援を行ったことで、各区における観光振興に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・コンベンションの開催状況に関し、参加人数は毎年増加しているものの、開催件数が目標に届かなかったことから、新規コンベンションの誘致に向け、主催者のニーズの把握や他市の開催支援策等について研究していく。
- ・スポーツ合宿件数については、更なる増加に向けて、市内スポーツ施設の稼働状況を調査し、新規誘致の可能性を踏まえたうえで営業活動を行っていく。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

**【執行残額について】**

事業費節減：事業実施に伴う執行残 402

事業未実施：事業実施内容の見直しに伴う執行残 509

入札差金：チラシ印刷に係る入札差金 61

その他：観光振興総務管理費に係る事務経費について当初見込みを下回ったことに伴う執行残 688

観光案内運営事業に係る事務経費について当初見込みを下回ったことに伴う執行残 366

上越観光コンベンション協会補助金に係る協会の職員人件費について当初見込みを下回ったことに伴う執行残 3,004

各区観光振興対策事業に係る事務経費について当初見込みを下回ったことに伴う執行残 3,199

(単位：千円)

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	イベント推進費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
129,734	126,486				28,803 (財産収入)	97,683
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,248				3,248	

## 【目的】

高田城址公園観桜会など当市を代表するイベントを各実行組織と連携して開催し、市民の地域への誇りと愛着、一体感を育み、多様な交流機会の創出と市内経済の活性化につなげる。

## 令和5年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観桜会事業 70,365

○令和5年度目標

入込数：600,000人

○実施内容、これまでの経過等

・観桜会事業補助金 (70,365)

開催日 令和5年3月29日(水)から4月12日(水)までの15日間

会場 高田城址公園

事業主体 上越市、公益社団法人上越観光コンベンション協会、上越商工会議所

事業内容 オープニング花火打上げ、ぼんぼりの点灯、高田城三重櫓及びさくらロードのライトアップ、臨時駐車場の開設、お花見シャトルバスの運行、露店及び物産展の開設など

入込数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入込数	200,000人	395,000人	410,000人

○目標達成状況

最盛期には多くの人にご来場いただいたものの、会期後半では、開花が3月25日(土)に開花(これまでで最も早い開花)したことの影響から桜の見頃が過ぎてしまったこと、また、強風や降雨の影響により来場者数が伸びなかったことなどの理由から入込数が約41万人となり目標を達成することができなかった。

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	イベント推進費		

上越まつり事業 49,376

○令和5年度目標

	入込数
高田地区	80,000人
直江津地区	120,000人
春日地区	64,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越まつり委員会交付金 (48,825)

事業主体 上越まつり委員会 (公益社団法人上越観光コンベンション協会、高田祇園まつり奉賛会、直江津祇園祭協賛会、謙信公祭協賛会)

<高田、直江津地区>

開催日 令和5年7月23日(日)から7月29日(土)まで

開催内容 花火打上げ(高田地区)、みこし渡御、みこしの川下り、大花火大会(直江津地区)、町内屋台巡行、御饂米奉納、大民踊流し、露店の開設など

<春日地区(謙信公祭)>

開催日 令和5年8月18日(金)前夜祭、8月19日(土)、8月20日(日)本祭

事業内容 前夜祭(ちょうちん行列、花火の打上げなど)、狼煙上げ、献納米合戦、各種ステージイベント(一部中止または縮小)、武禊式、出陣行列(中止)、川中島合戦の再現など

- ・入込数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
高田地区	中止	1,000人	50,000人
直江津地区	中止	107,000人	181,000人
春日地区	1,965人	30,700人	14,700人

○目標達成状況

高田地区および直江津地区で目標を達成することができた。春日地区については、記録的な猛暑の影響により、出陣行列が中止となったほか、ステージイベントの一部が中止または、縮小となったことなどから、目標を達成することができなかった。

観蓮会事業 2,155

○令和5年度目標

入込数：57,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・高田城址公園観蓮会実行委員会交付金

開催日 令和5年7月15日(土)から8月20日(日)までの37日間

会場 高田城址公園、高田本町商店街ほか

事業主体 高田城址公園観蓮会実行委員会

事業内容 お休み処の設置、お水鉢の展示、ハスウォッチング、クーポン付き街歩きマップの配布、Instagramフォトコンテストなど

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	イベント推進費		

・入込数等の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入込数	57,000人	44,000人	85,000人
開催期間	7月17日(土)～ 8月22日(日)	7月16日(土)～ 8月21日(日)	7月15日(土)～ 8月20日(日)
日数	37日間	37日間	37日間

○目標達成状況

記録的猛暑の影響により入込数が伸び悩んだものの、昨年度に比べ来場者は85,000人と大幅に増加したことから、目標を達成することができた。

レルヒ祭事業 4,590

○令和5年度目標

入込数：7,000人

○実施内容、これまでの経過等

・レルヒ祭実行委員会交付金

開催日 令和6年2月3日(土)、4日(日)

会場 金谷山スキー場、高田本町商店街ほか

事業主体 レルヒ祭実行委員会

事業内容

(1) 金谷山会場

- ・1日目…令和6年2月3日(土)

あかりのパレードたいまつ滑走、ミュージックスターマイン

- ・2日目…令和6年2月4日(日)

オープニングセレモニー、レルヒ検定○×クイズ、一本杖スキー披露・講習会

- ・両日

日本スキー発祥記念館入館無料、金谷山スキー場リフト無料開放、ステージイベント、レルヒ屋台村・ドリンクブース開設、無料シャトルバス運行、臨時駐車場開設など

(2) 本町商店街会場

- ・本町ガチ盛りまつり(令和6年2月3日(土)から29日(木)まで)

- ・入込数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入込数	1,482人	4,400人	4,000人

○目標達成状況

コロナ禍前の規模で開催したが、入込数は4,000人(目標7,000人：達成率約57%)となり、目標を大幅に下回った。

【事業の成果】

全てのイベントで5年ぶりにコロナ禍前の規模で開催したが、多くのイベントで目標入込数に達することができなかった。

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	イベント推進費		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

引き続き、多くのイベントで各イベントの実行委員会や関係機関と効果的な情報発信や受入態勢の在り方等について検討を重ね、イベント内容と情報発信、データ収集の充実を図り、当市の更なる認知度向上と交流人口の拡大を促進していく。

**【執行残額について】**

その他：事業実施に伴う執行残 3,248

(単位：千円)

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,253	11,971				345 (使用料、財産収入、 譲収入)	11,626
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	282				282	

**【目的】**

直江津祇園祭の屋台を保管するとともに、貸館施設としての利用促進や観光情報の発信を行い、伝統文化の保存と地域の活性化を図る。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和5年度目標

- ・利用者数：8,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地 西本町4丁目18番12号  
 設置年度 平成6年度  
 構造 鉄骨造1階建て  
 施設内容 イベントホール、広場、保存・展示庫  
 面積 延床1,489.26㎡  
 管理 直営(業務委託)  
 利用形態 直江津祇園祭屋台の保管、貸館施設

## ・施設の経緯

平成6年度 開館  
 平成14年度 利用者の減少により休館  
 平成17・18年度 屋台会館前広場で、伝統芸能の披露を実施  
 平成19年度 有効活用方法検討のため、関係町内会連絡協議会を開催  
 平成20・21年度 「越後上越 天地人博」の開催  
 平成22年度 貸館とする準備のため閉館(6月末まで)  
 貸館及び屋台保管施設として開館(7月から)  
 平成25年度 会議室をJ-ホールディングス(株)へ事務所貸付(令和元年度末まで)  
 令和3年度 屋根の改修工事を実施  
 会議室をスポーツ協会へ事務所貸付(令和4年3月末まで)  
 令和5年度 会議室を上越観光コンベンション協会へ貸付、管理業務委託

決算書 (P 296～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
			計 画	実 績
利用者数	5,590 人	5,244 人	8,000 人	21,186 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	79	300	202	203
	その他	544	76	65	142
	合計	623	376	267	345
②支出	施設維持管理費	47,938	4,123	12,253	11,971
	うち委託料	1,219	1,429	2,803	2,765
	うち施設整備工事	43,926	-	4,961	4,950
	その他	-	-	-	-
	合計	47,938	4,123	12,253	11,971
③公費投入額 (②-①)		47,315	3,747	11,986	11,626
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		8,464	715	1,498	549

○目標達成状況

上越観光コンベンション協会主催のイベントのほか、うみまちアートや防災イベント等での利用があったことから、利用者数は目標に対して 13,186 人多い 21,186 人となり、目標を大きく上回った。

【事業の成果】

令和 5 年度から、上越観光コンベンション協会が移転し、同協会主催のイベント利用があったほか、うみまちアートや防災イベントの主会場としての利用があり、地域の活性化に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・上越観光コンベンション協会や地域団体等と連携し、施設の利用促進や観光情報の発信に資する取組を実施する。
- ・直江津屋台会館周辺の年間を通じた賑わいや生業の創出に向けて、定期的なイベント実施や自律的な運営体制の構築等を目指す社会実験を行う。
- ・上記の取組とあわせて、今後は、通年観光計画に基づき、施設の利活用の方策について検討する。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 282

(単位：千円)

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	金谷山公園管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
51,401	47,633				2,594 (使用料、諸収入)	45,039
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,768	1,398			2,370	

## 【目的】

恵まれた自然環境の中で健全な余暇活動の場を提供できるよう、金谷山スキー場や上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）を含む金谷山公園を適切に管理し、誘客促進を図る。

## 令和5年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和5年度目標

- ・ボブスレー利用者数 : 11,000人
- ・スキーリフト利用者数 : 4,000人
- ・BMX場コース利用者数 : 1,200人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

## 金谷山スキー場

所在地 大字大貫 595 番地 2

設置年度 昭和 56 年度

施設内容 コース : 3 本、最長滑走距離 640m、そり遊びエリア

リフト : シングル 1 基

管理棟 : 鉄筋コンクリート造 2 階建て 58.00 m<sup>2</sup>監視所 : 木造 1 階建て 6.55 m<sup>2</sup>、木造 1 階建て 3.27 m<sup>2</sup>公衆トイレ : 鉄筋コンクリート造 1 階建て 21.38 m<sup>2</sup>、  
木造 1 階建て 28.23 m<sup>2</sup>

営業期間 令和 6 年 1 月 28 日 (日) から 2 月 15 日 (木) まで

管 理 直営 (業務委託)

利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	金谷山公園管理運営費		

金谷山スーパーボブスレー

所在地	大字大貫 595 番地 2
設置年度	昭和 56 年度
施設内容	コース：1 本、延長 450m
営業期間	4 月 22 日（土）から 10 月 29 日（日）までの土曜・日曜・祝日、夏休み期間
管理	直営（業務委託）
利用形態	スポーツ・レクリエーション施設

上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）

所在地	大字大貫 698 番地 1
設置年度	平成 10 年度
施設内容	コース：延長約 350m 休憩施設：鉄筋コンクリート造 2 階建て 26.39 m <sup>2</sup> 公衆トイレ：木造 1 階建て 34.78 m <sup>2</sup>
営業期間	4 月 29 日（土）から 10 月 29 日（日）までの土曜・日曜・祝日、お盆期間
管理	直営（業務委託）
利用形態	スポーツ・レクリエーション施設

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
			目標	実績
ボブスレー利用者	9,140 人	10,615 人	11,000 人	8,794 人
スキーリフト利用者	4,202 人	1,984 人	4,000 人	1,242 人
BMXコース利用者	1,506 人	1,069 人	1,200 人	1,162 人
合計	14,848 人	13,668 人	16,200 人	11,198 人

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
			予算現額	実 績	
①収入	使用料収入	2,585	2,981	3,153	2,570
	その他	83	1,221	15	24
	合計	2,668	4,202	3,168	2,594
②支出	施設維持管理費	49,410	87,125	51,401	47,633
	うち委託料	28,845	29,202	30,863	30,024
	その他	-	-	-	-
	合計	49,410	87,125	51,401	47,633
③公費投入額 (②-①)	46,742	82,923	48,233	45,039	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	3,148	6,067	2,977	4,022	

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	金谷山公園管理運営費		

○目標達成状況

- ・降雨等により営業日数が少なくなったことや、猛暑の影響により夏期の利用者数が減少したことから、ボブスレーの利用者数は目標に対して2,206人少ない8,794人(目標:11,000人、達成率:80.0%)となり、目標を下回った。
- ・スキーリフトの利用者数は、少雪により例年と比較して営業日が少なかった(営業日数:19日)ことから、目標に対して2,758人少ない1,242人(目標:4,000人、達成率:31.0%)となり、目標を大きく下回った。
- ・バイシクルモトクロス(BMX)場は、上越バイシクル協会主催の定期戦や全日本BMX連盟主催の大会が開催されたものの、降雨によるコースコンディション不良で営業できない日があったことにより、利用者数は目標に対して38人少ない1,162人(目標:1,200人、達成率:96.8%)となり、目標をやや下回った。

【事業の成果】

雑木の伐採や草刈りなど施設の適切な管理を行い、良好な景観を維持し、安全で気軽に楽しめる市民の憩いの場を提供した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・施設の老朽化が進む金谷山公園について、地域住民や施設関係者とともに、今後の在り方について早期に検討する必要がある。
- ・新潟県BMX協会と連携し、初心者向けの講習会を実施するなど、競技人口の拡大と全日本自転車競技選手権などの大会誘致による交流人口の拡大を図る。

【執行残額について】

事業費節減：ボブスレー滑走機用消耗品の購入数量節減などに伴う執行残 1,398  
 そ の 他：事業実施に伴う執行残 2,370

(単位：千円)

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
720,240	235,421			132,500	794 (諸収入)	102,127
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
479,100	5,719			5,657	62	

## 【目的】

安全安心の利用を確保するための適切な施設の維持・整備を行うことにより、スキーを始め年間を通じて野外スポーツ等を楽しめる観光拠点とする。

## 令和5年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和5年度目標

- ・雪だるま高原施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、重大事故の発生をゼロとする。
- ・令和4年度に策定した将来計画に基づき、新第2リフト建設事業を着実に推進する。

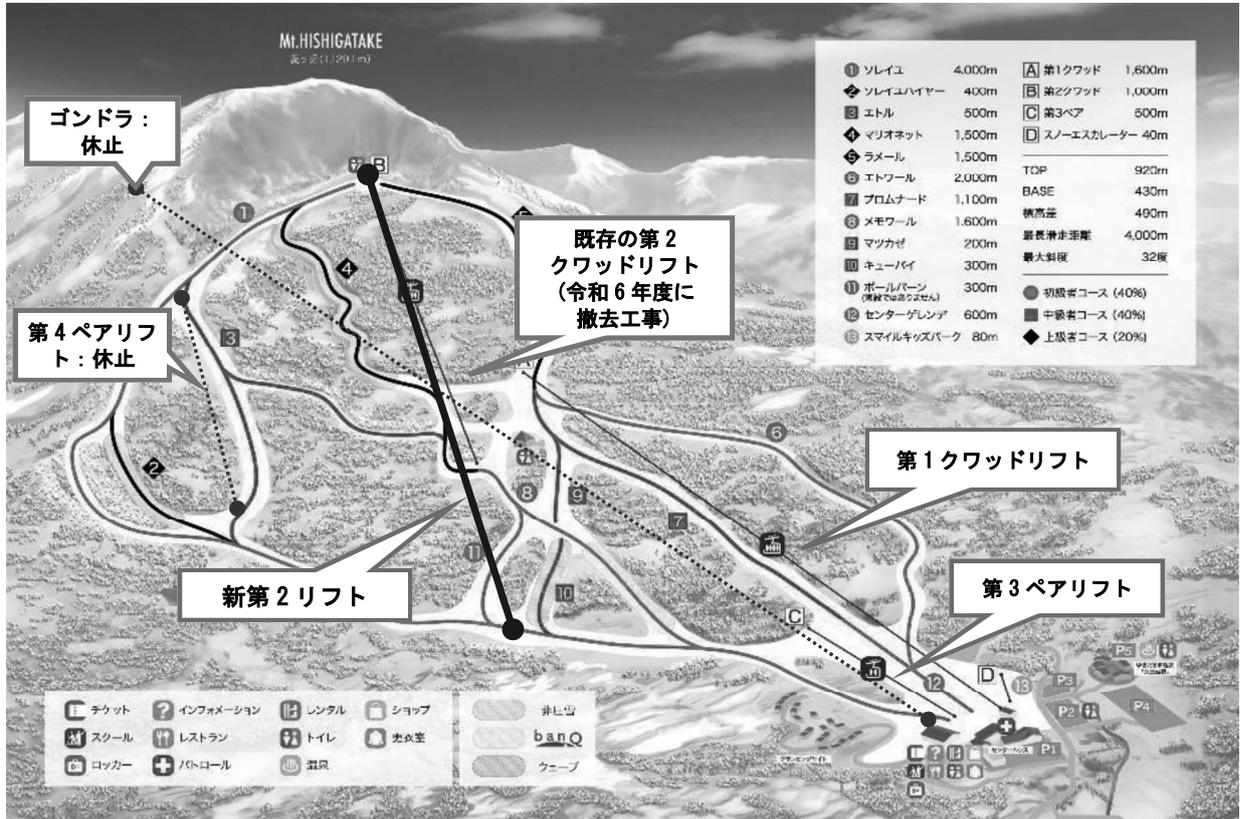
## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地	安塚区須川地内
設置年度	平成2年度
施設内容	スキー場 ゲレンデ面積48ha 索道施設 ゴンドラ1基 ※令和2年度から休止 リフト4基 ※平成28年度から第4ペアリフト休止 宿泊施設 コテージ：20棟(管理棟含む)50室 久比岐野：和室7室、洋室8室 ※令和2年度から休止 体験施設 ふれあい昆虫館 ※令和2年度から休止 棚田動植物公園：面積2ha 温泉施設 久比岐野新館(日帰り温泉)
管理	指定管理
利用形態	スキー場ほか

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

【スキー場コース図】



・令和5年度の実施状況

項目	金額	内容
消耗品費	21,644	<p>【クワッドリフト】握索機前後部ハブ (7,568)、握索機部品 (5,027)、押送装置部品 (2,372)、握索機さらばね (2,191)、索輪部品 (1,727)</p> <p>【第3ペアリフト】搬器部品 (1,573)、索輪部品 (539)</p> <p>【その他】消火器 (420) 等</p>
修繕料	38,851	<p>【車両関係】圧雪車基本整備 (10,049)、圧雪車修繕 (1,953)、乗用草刈機点検整備 (892)、スノーモービル基本整備・修繕 (790)、除雪機車両検査・修繕 (485)</p> <p>【ビレッジ】屋根葺替修繕 (9,240)、シャワー等修繕 (2,651)、外通路羽目板修繕 (818)</p> <p>【センターハウス】非常用発電装置蓄電池交換修繕 (1,598)、浄化槽放流ポンプ配管取替修繕 (1,184)、屋根修繕 (881)、非常用発電装置セルモーター交換修繕 (591)</p> <p>【その他】スノーエスカレーター分解点検修繕 (1,518)、ふれあい橋修繕 (964)、第1クワッドリフト山頂駅舎屋根修繕 (809)、雪の湯屋根修繕 (564) 等</p>

決算書 (P 296～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

項目	金額	内容
通信運搬費	430	W i - F i 回線使用料
手数料	13	除雪機車両検査手数料
保険料	9	除雪機自賠責保険料
使用料及び 賃借料	2,324	除雪重機賃借料 (1,414)、A E D 賃借料 (140) 国有林野土地借上料 (770)
工事請負費	170,032	【新第 2 リフト】建設事業 (132,500) 【第 1 クワッドリフト】通信ケーブル更新工事 (19,272)、山頂 出発走行レール等更新工事 (16,940)、原動設備ユニバーサルジ ョイント更新工事 (1,320)
備品購入費	2,118	ゴミ置き場ユニットハウス (1,902)、グリースルブリゲーター (216)
合計	235,421	

#### ○目標達成状況

- ・令和 6 年能登半島地震や突風等の自然災害を始め、経年劣化による施設・設備等の損傷、故障を適切に修繕し、利用客の安全を確保することで、重大事故の発生をゼロにすることができた。
- ・新第 2 リフト建設事業においては、外部の有識者も含めた事業者選定委員会での審査結果を踏まえ、設計業務と建設工事を一括して行う事業者と契約を締結し、着手した。

#### 【事業の成果】

- ・雪だるま高原施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図ることにより、前年実績を上回る利用があった。
- ・施設や装置機器の定期的な点検と計画的な修繕を実施し、維持管理を適切に行ったことにより施設全体を安全に運営できた。
- ・新第 2 リフト建設事業においては、設計業務と建設工事を一括して行う事業者を決定するとともに、実施設計業務や関係省庁の許認可申請書類作成、部材製作等の業務に着手し、業務を推進した。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・「安塚雪だるま高原施設整備活用基本計画」に基づき、事故防止及び長寿命化のための必要な修繕を適時適切に実施する。
- ・新第 2 リフト建設事業について、令和 7 年 12 月の供用開始に向け、着実に業務を進める。

#### 【執行残額について】

入札差金：修繕及び工事等の入札又は見積合わせに伴う差金 5,657  
 その他：事業実施に伴う執行残 62

(単位：千円)

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,657	25,453			4,000	11,634 (使用料、財産収入、諸収入)	9,819
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,204				1,204	

## 【目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、地域経済の活性化を図る。

## 令和5年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和5年度目標

- ・利用者数：3,315人（うち宿泊1,145人、日帰り2,170人）

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地 大島区田麦1096番地2  
 設置 宿泊棟：平成3年度 体験棟：平成5年度  
 構造 宿泊棟：鉄筋コンクリート造2階建て 体験棟：木造一部2階建て  
 施設内容 宿泊棟：客室7室、食堂、浴室2室 体験棟：広間、調理体験室、座敷  
 面積 延床967.07㎡（宿泊棟711.56㎡、体験棟255.51㎡）  
 管理 直営（業務委託）  
 利用形態 日帰り及び宿泊施設

## ○施設の管理実績

## ・利用者数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	実績
利用者数	819人	1,939人	3,315人	2,628人
うち宿泊	86人	629人	1,145人	953人
うち日帰り	733人	1,310人	2,170人	1,675人

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	416	2,148	3,471	3,103
	その他	2,082	5,348	11,319	8,531
	合計	2,498	7,496	14,790	11,634
②支出	施設維持管理費	18,579	21,297	26,657	25,453
	うち委託料	9,324	11,167	11,720	11,654
	その他	-	-	-	-
	合計	18,579	21,297	26,657	25,453
③公費投入額 (②-①)		16,081	13,801	11,867	13,819
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)		19,635	7,118	3,580	5,258

○目標達成状況

季節のイベントを実施するなど、利用者数の増加に向けた取組が一定の効果を上げたものの、主な利用者である越後田舎体験や、首都圏の中学校・高校の合宿がコロナ禍以前の水準まで回復しなかったことなどから、宿泊・日帰りともに目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・目標達成とはならなかったものの、県外からの利用者や宴会利用などが増加傾向となっており、利用者数については回復基調にある。
- ・営業活動によって、一部ではあるが首都圏の中学校・高校の合宿が再開できたほか、季節のイベントの実施を通じて、利用者との交流及びリピーターの増加につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・首都圏の学校等との交流再開を更に働きかけるとともに、季節の独自イベントを継続して開催することで新たな利用者を獲得し、庄屋の家ファンの拡大を図る。
- ・施設・設備は建設から 30 年以上が経過し老朽化が進んでいることから、利用者の安全や利便性に配慮しながら計画的な修繕を行い、適切な維持管理に努める。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 1,204

(単位：千円)

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,802	3,695			1,400	447 (譲入)	1,848
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	107				107	

## 【目的】

豊かな自然と田舎の生活文化に触れる憩いの場を提供することにより、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

## 令和5年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和5年度目標

- ・利用者数：7,500人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地 牧区池舟2番地

設置年度 昭和53年度

建物 ふるさとの家

木造2階建て

延床面積：214.5㎡、

施設内容：厨房、食堂、客間

ふるさとアピール館 木造2階建て(鉄筋コンクリート造地下1階)

延床面積：417.31㎡

管 理 直営(業務委託)

利用形態 体験研修施設

## ・施設の経緯

ふるさとアピール館 平成27年度から休止

平成30年度から地元団体に施設使用許可

ふるさとの家

平成15年度から地元団体が施設使用許可を受け、蕎麦屋「木草庵」の営業開始

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計 画	実 績
利用者数	7,043人	8,022人	7,500人	7,300人
うち木草庵	6,820人	7,846人	7,300人	7,185人

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			予算現額	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	432	503	425
	合計	432	503	425
②支出	施設維持管理費	2,919	2,901	3,802
	うち委託料	1,836	1,793	1,876
	その他	-	-	-
	合計	2,919	2,901	3,802
③公費投入額 (②-①)	2,487	2,398	3,377	3,248
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	353	299	450	445

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたが、利用者数は目標に対して200人少ない7,300人となり、目標を達成できなかった。

地域独自の予算事業 295

- ・沖見地区観光拠点づくり事業(牧区)(295)

【事業の成果】

- ・「ふるさとの家」では、地元団体が蕎麦屋「木草庵」を運営しており、毎年、年間7,000人を超える利用がある。
- ・地域独自の予算事業では、花の植栽のほかに、ふるさと村のPRホームページを作成し、牧区内外からの来訪者を誘客した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

当該施設は「公の施設の適正配置計画」の対象となっており、地域の高齢化や人口減少のほか、施設の老朽化もあり、今後の施設の利活用が難しくなることが見込まれるため、施設の今後の在り方について、地元団体や関係機関と検討を進めていく。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 107

(単位：千円)

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,850	2,576			1,100	38 (使用料、謝収)	1,438
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	274				274	

**【目的】**

地域の特性及び資源を活用した体験型観光施設として、都市部の住民との交流促進を図る。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和5年度目標

- ・利用者数：1,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地	牧区原 991 番地
設置年度	平成 11 年度
構造	2 階建て (1 階 RC 構造、2 階木造)
施設内容	研修室 1 室、ミーティングルーム 1 室、体験調理室・実習室 1 室、ホール 1 室、ふれあい広場
面積	延床 568.34 m <sup>2</sup>
管理	直営 (業務委託)

## ○施設の管理実績

## ・利用者数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	986人	1,408人	1,000人	2,102人

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	10	5	-	6
	その他	51	54	65	32
	合計	61	59	65	38
②支出	施設維持管理費	2,586	2,709	2,850	2,576
	うち委託料	1,562	1,453	1,504	1,503
	その他	-	-	-	-
	合計	2,586	2,709	2,850	2,576
③公費投入額 (②-①)		2,525	2,650	2,785	2,538
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		2,561	1,882	2,785	1,207

○目標達成状況

利用者数は、「川辺山菜まつり」の再開したことなどから、目標に対して1,102人多い2,102人(目標:1,000人、達成率:210.2%)となり、目標を大きく上回った。

【事業の成果】

地元のNPO法人に施設管理を委託し、適切な施設管理を行うとともに、「とうど呼び体験」や「もちつき体験」、「みそ作り体験」などの郷土料理体験を実施したことにより、施設の利活用が図られた。また、コロナ禍前に開催していた「山菜まつり」の再開などにより、利用者数が大きく増加した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

当該施設は「公の施設の適正配置計画」の対象となっており、地域の高齢化や人口減少のほか、施設の老朽化もあり、今後の施設の利活用が難しくなることが見込まれるため、施設の今後の在り方について、地元団体や関係機関と検討を進めていく。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 274

(単位：千円)

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,025	9,962				261 (財産収入、諸収入)	9,701
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	63				63	

**【目的】**

道の駅として施設を訪れる観光客等の「休憩場所の確保」と「利用しやすい環境整備」を行うとともに、地域の特産品や観光情報を発信することにより、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和5年度目標

- ・利用者数：80,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地 吉川区杜氏の郷1番地(敷地面積：18,691.92㎡)  
 設置 平成15年度  
 施設内容 情報発信施設：木造1階建て 218.14㎡  
 公衆トイレ：木造1階建て 69.71㎡  
 駐車場 265台  
 管理 直営(業務委託)  
 利用形態 道の駅(休憩施設等)

## ○施設の管理実績

## ・利用者数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	77,875人	77,516人	80,000人	71,656人

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	2	10	-
	その他	245	1,991	340	261
	合計	245	1,993	350	261
②支出	施設維持管理費	10,815	12,489	10,025	9,962
	うち委託料	4,004	4,764	4,428	4,427
	その他	-	-	-	-
	合計	10,815	12,489	10,025	9,962
③公費投入額 (②-①)		10,570	10,496	9,675	9,701
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		136	135	121	135

○目標達成状況

利用者数は、目標に対して 8,344 人少ない 71,656 人（目標：80,000 人、達成率：89.6%）となり、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

地域の観光ポスターやパンフレット等を配置し、観光客への情報提供を図るとともに、広場を活用した地域イベントが行われるなど、交流人口の拡大に寄与した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・「道の駅よしかわ杜氏の郷」のホームページ等を活用し、積極的な情報発信や PR に努めるほか、地域と連携したイベントの開催や道の駅の関係団体との共同による取組を促すことにより、道の駅全体としての魅力向上を図っていく。
- ・地域や関係団体等で構成する「道の駅よしかわ杜氏の郷活性化検討会」において、当該施設の将来計画を検討する必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 63

※道の駅よしかわ杜氏の郷には「ゆったりの郷」も含まれるが、同施設については、観光施設等管理事業で記載しており、本事業に記載した数値等には含んでいない。

(単位：千円)

決算書 (P298～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,105	6,852				1,373 (譲入)	5,479
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	253				253	

## 【目的】

坊ヶ池湖畔公園を安全に利用できるように維持管理するとともに、地元団体が、休止施設を交流事業などで適切に使用できる状態を確保する。

## 令和5年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

	山荘京ヶ岳		フォークハウス湖畔
	本館	新館	
設置年度	平成2年度	平成6年度	平成元年度
構造	木造2階建て	木造2階建て (地下：鉄筋コンクリート造)	鉄筋コンクリート造 3階建て
延床面積	499.44 m <sup>2</sup>	1,036.05 m <sup>2</sup>	367.9 m <sup>2</sup>

所在地 清里区青柳3438番地

その他 坊ヶ池湖畔公園 炊事場・トイレ

※開設期間 4月13日(木)から11月30日(木)

管理 直営

利用形態 公園施設

## ・施設の経過

平成29年度から「山荘京ヶ岳」、「フォークハウス湖畔」を休止

以後、地元団体が施設使用許可を受け、イベントや地域交流など地域活性化を目的とした事業を行うため、山荘京ヶ岳新館の一部(大広間・厨房)の使用

決算書 (P298～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

○施設の管理実績

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	1,529	1,497	1,934	1,373
	合計	1,529	1,497	1,934	1,373
②支出	施設維持管理費	4,020	4,083	7,105	6,852
	うち委託料	1,823	1,799	1,683	1,683
	その他	-	-	-	-
	合計	4,020	4,083	7,105	6,852
③公費投入額 (②-①)		2,491	2,586	5,171	5,479
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

【事業の成果】

市が施設内設備等を適切に維持管理した上で、地元団体が地域交流を目的にカフェを運営したほか、流しそうめんや蕎麦まつりなどのイベントを実施した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

地元団体による施設の利活用を支援するとともに、今後の利用動向を踏まえ、施設の在り方を検討する。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 253

(単位：千円)

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
17,645	16,664		450	1,600	3,315 (使用料、財産収入、 譲収入)	11,299
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	981				981	

**【目的】**

名立区の自然をいかした余暇活動や心身の健康の保持及び増進の場として、当施設を適切に維持管理し、周辺施設を含めた利用客の増加を促す。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和5年度目標

- ・利用者数：15,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地	名立区名立小泊798番地1
設置年度	平成5年度
施設内容	ビッグボブスレー：全長470m ローラースライダー：全長190m ※休止中 アスレチック：木製15基 ※一部休止中 芝生広場：1,200㎡ 展望台：木造 地下1階・地上2階建て 延床299.42㎡ バーベキューハウス：木造1階建て 78.67㎡ 休憩棟：木造1階建て 57.97㎡ 管理棟：木造1階建て 132.2㎡ 等
面積	約35ha
営業期間	4月15日(土)から10月29日(日)までの土曜・日曜・祝日 (夏休みは金曜、お盆も営業)
管理 利用形態	直営 公園施設

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	13,639人	16,121人	15,000人	10,624人

・施設管理における市の収支状況

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	3,746	4,616	3,816	3,262
	その他	161	1,115	471	503
	合計	3,907	5,731	4,287	3,765
②支出	施設維持管理費	12,906	19,583	17,645	16,664
	うち委託料	767	845	1,409	1,408
	その他	-	-	-	-
	合計	12,906	19,583	17,645	16,664
③公費投入額 (②-①)		8,999	13,852	13,358	12,899
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		660	859	891	1,214

○目標達成状況

猛暑など天候による影響のほか、ローラースライダーや一部の木製アスレチック遊具などが使用できなかったことから、目標に対して4,376人少ない10,624人(目標:15,000人、達成率:70.8%)となり、目標を大きく下回った。

【事業の成果】

適切な人員配置や遊具の点検、給水ポンプの入替など、適切な施設運営や維持管理ができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

風害や塩害、老朽化によりローラースライダーや木製アスレチック遊具の一部が破損し、利用を中止している。設置から30年以上が経過し、破損箇所等の修繕に多額の費用が発生することから、今後の施設の在り方を検討していく。

【執行残額について】

その他: トイレ改修工事の内容見直しに伴う執行残 797  
事業実施に伴う執行残 184

(単位：千円)

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,713	6,701				135 (譲入金)	6,566
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	12				12	

## 【目的】

光ヶ原高原センターや周辺施設を適切に維持管理するとともに、地元団体が、それらの施設を有効活用し、光ヶ原高原、関田山脈の魅力を伝えることができる状態を確保する。

## 令和5年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・令和4年度から光ヶ原高原観光総合施設は廃止し、グリーンパル光原荘の駐車場は、景観を楽しむ来訪者のために開放するとともに、光ヶ原高原センターは、地域主催のイベントでの利用など地域からの要望に応じ開放できるよう維持管理を行っている。
- ・キャンプ場は、(一財)あしんの里観光公社が借り受け、光ヶ原高原ファン倶楽部が主体となり運営した(利用者数302人、令和4年度比42人の減)。

## ・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	522	-	-	-
	その他	69	98	233	135
	合計	591	98	233	135
②支出	施設維持管理費	9,692	2,340	4,683	4,671
	うち委託料	6,859	819	1,264	1,263
	その他	-	-	2,030	2,030
	合計	9,692	2,340	6,713	6,701
③公費投入額(②-①)		9,101	2,242	6,480	6,566
④利用者1人当たりの公費投入額(単位：円)		691	-	-	-

決算書 (P300～P301)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

地域独自の予算事業 2,030

ベース・キャンプ in 光ヶ原高原事業（板倉区）(2,030)

**【事業の成果】**

地元団体が、地域独自の予算事業を活用しキャンプ場運営及びイベント開催を行うことにより地域住民の観光振興や地域おこしへの関心が高まるとともに、賑わいの創出に貢献した。

キャンプ場：来場者 302 人

光ヶ原高原イベント（令和5年8月23日開催）：来場者 2,000 人

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

引き続き、地元団体と連携しながら、光ヶ原高原観光総合施設のより良い利活用策を検討する。

**【執行残額について】**

その他：事業実施に伴う執行残 12

(単位：千円)

決算書 (P300～P303)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
110,134	93,420		20,264		20,019 (繰越金、譲入)	53,137
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	16,714	2,994	4,097	456	9,167	

**【目的】**

「上越市観光交流ビジョン」に掲げた将来のありたい姿を、市民や事業者などと共有しながら、観光PRや旅行者の受入環境の整備など、様々な取組を一体となって進めることにより、一年を通じて楽しい交流が生まれる観光地域づくりを推進する。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

観光地域づくり実践事業 670

## ○令和5年度目標

観光コンテンツづくりやSNSを活用した情報発信を推進し、観光の担い手による更なる実践を促す。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・様々な担い手が各々の取組に役立つ知識や技術を習得し、観光やおもてなしに資する事業を創出するため、観光地域づくり実践未来塾において、民間事業者や県と連携し、セミナーやワークショップを2回実施した。
- ・市内を訪れた観光客を対象にアンケートを行い、属性別の構成比(出発地、宿泊客・日帰り客等)や訪問地点数等について聞き取る観光地点パラメータ調査を実施した。

## ○目標達成状況

観光地域づくり実践未来塾を開催することにより、観光をけん引する担い手が知識や技術を習得し、参加者の中から観光庁の補助金を活用し、新たな事業が創出された。

観光交流ビジョン検討事業

## ○令和5年度目標

当市ならではの観光地域づくりに向け、市民が共有したいビジョンに焦点を当てた「上越市観光交流ビジョン」について、通年観光の位置付けや方向性を加えた内容とするなど、必要な見直しを行い、改定を完了させる。

決算書 (P 300～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

○実施内容、これまでの経過等

「上越市観光交流ビジョン」は、進むべき道標として普遍的であることから、令和 6 年度以降も継続することとし、「上越市通年観光計画」をアクションプログラムの重点取組に位置付け、文言整理などの改訂を行った。

○目標達成状況

令和 6 年 4 月 1 日に「上越市観光交流ビジョン（改訂版）」を策定したことから、目標は達成した。

地域活性化起業人事業 5,600

○令和 5 年度目標

令和 4 年度に引き続き観光事業者から職員の派遣を受け、地域資源をいかしたプログラム開発やプロモーションの強化、マーケティング技術の普及を図る。

○実施内容、これまでの経過等

㈱阪急交通社から職員 1 人の派遣を受けた上越観光コンベンション協会が、観光庁の「看板商品の創出事業」を活用し、「着物の着付け体験」などの新たな観光コンテンツを造成したほか、商談会等における観光営業や旅行商品の造成支援等に取り組んだ。

○目標達成状況

㈱阪急交通社から職員 1 人の派遣を受け、当市の観光事業者と連携し、補助事業を活用した観光コンテンツを造成したほか、観光事業者が企画する市内宿泊又は立ち寄りを伴う募集型旅行商品の造成支援に取り組んだことにより、プログラム開発やプロモーションの強化、マーケティング技術の普及が図られた。

観光営業事業 5,818

○令和 5 年度目標

旅行事業者への商品造成に向けた営業活動を実施するとともに、北陸新幹線の活用と関東方面からの誘客を促進するため、当市の歴史・文化や観光資源の発信を強化する。

○実施内容、これまでの経過等

上越観光コンベンション協会や市内観光事業者・メディアと連携し、当市への観光誘客に向けた営業活動を行った。

(1) 姉妹都市や北陸新幹線沿線自治体等での観光 PR 活動等 (251)

姉妹都市、北陸新幹線沿線自治体及び県内で開催されたイベントに参加し、観光 PR を実施した。

(2) 高田城址公園観桜会における観光 PR 活動 (740)

北陸新幹線停車駅都市や近隣自治体の観光 PR ブースを設営し、観光誘客や都市間の交流人口の増加を図った。

(3) 上越妙高駅新幹線改札前 PR スペースでの情報発信 (138)

J R 東日本が情報発信拠点として整備したスペースを活用し、駅利用者に当市の高田城址公園観桜会、高田城址公園観蓮会及び謙信公祭の周知を図った。

決算書 (P 300～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

(4) 関東方面における観光PR活動 (3,166)

当市の知名度向上と誘客の促進、地場製品の販路拡大を図るため、横浜市で開催されるイベントに参加・出展した。

(5) 北陸新幹線敦賀延伸記念事業費 (987)

北陸新幹線敦賀延伸に祝意を表明するため、延伸記念懸垂幕を作成・掲出したほか、当市を目的地とした旅行商品の造成により誘客促進を図るため、旅行事業者を対象としたモニターツアーを実施した。

(6) その他事業関係費 (536)

当市の観光スポットを紹介する番組に協賛金を支出した。

○目標達成状況

上越観光コンベンション協会や観光事業者と連携し、県内外で行われた観光PRイベントなどに参加し、パンフレット配布や甲冑体験などを通じて当市の歴史・文化を様々な地域で発信した。

各種団体等との連携事業 5,108

○令和5年度目標

アフターコロナにおける国内外の観光産業の動向や、令和5年度末に予定されている北陸新幹線の敦賀延伸を見据え、県内外の関係自治体や観光事業者と連携し、より効果的な情報発信や域内周遊の促進に向けた取組を進める。

○実施内容、これまでの経過等

各種団体等に参画し、県内外の自治体や観光事業者と連携し、効果的な情報発信や広域周遊観光の促進に向けた取組を実施した。

(1) ほくほく線沿線地域振興連絡協議会 (1,220)

沿線の観光スポットや飲食店情報を掲載した「ほくほくマガジン」の発行に加え、Facebookや「ほくほくマガジンWeb」、SNS広告を活用してほくほく線関連のツアーや沿線情報を発信した。また、新潟県観光協会主催の観光商談会や北越急行(株)及びえちごトキめき鉄道(株)が共同で実施したコラボスタンプラリーへ参加した。

(2) 新潟県観光協会 (1,692)

「にいがた観光ナビ」を中心とした県内観光情報の発信、商談会の開催や誘客宣伝活動を行い、地域経済の持続的な発展と活力に満ちた地域社会づくりの実現に寄与した。

(3) 新潟県インバウンド推進協議会 (131)

インバウンドの拡大を見据えた誘客として、海外旅行者等を招いた商談会の実施や、上越市への旅行社招聘事業を行い、情報発信、情報収集を行った。

(4) にいがたスキー100年委員会 (166)

県内スキー情報サイト「新潟スノーファンクラブ」の運営など、効率的な情報発信により、本県スキーファンの来訪促進を図った。

(5) 上信越ふるさと街道協議会 (10)

長野県・群馬県・新潟県にまたがる各街道沿線の関係団体が、協議会のホームページを通じて、ルートマップや各市のおすすめ散策コースを紹介するなど、誘客促進に向けた情報発信を行った。

決算書 (P 300～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

- (6) 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 (400)  
令和6年3月16日の北陸新幹線敦賀延伸の機会を捉え、大阪駅のデジタルサイネージなど、JR 駅メディアを用いたプロモーション事業を行い、各市の誘客PRを図った。
- (7) 日本さくらの会 (10)  
国花である「桜」の愛護、保存、普及活動等の取組を行った。
- (8) 新潟県観光ファンづくり推進協議会 (765)  
「にいがた観光ファンクラブ『N i i c l e』」の認知度向上や会員登録促進、協力施設の増加に向けた各種キャンペーンを実施したほか、会員登録者のデータ分析を行い、ニーズにあった情報発信、特典を付与することで効果的に会員登録者の周遊を促した。
- (9) 北アルプス日本海広域観光連携会議 (577)  
台湾旅行社の招聘事業を行ったほか、台湾の旅行博に参加し、情報発信と観光事業者へのセールスコールを行った。また、えちごトキめき鉄道(株)においてサイクルトレインを運行し、サイクリストの利便性向上を図った。
- (10) 関東広域観光機構 (100)  
都県と連携して行う広域連携事業や観光庁の国庫補助事業である「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」、「観光再始動事業」などを活用した事業を行った。
- (11) 新潟県スキー観光産業振興協議会 (2)  
「スキーの新潟情報発信事業」として、各種メディアを通じて県内のスキー情報を広く発信したほか、台湾や香港をターゲットとしたインターネット広告を実施し、外国人旅行者誘致に取り組んだ。
- (12) 会議等出席旅費 (35)

○目標の達成状況

各種団体等に参画し、各々のニーズに合った情報を発信したほか、県内外の関係自治体や観光事業者と誘客促進に向けた取組を進めた。

上越地域連携事業 1,926

○令和5年度目標

上越地域の魅力ある観光資源を組み合わせ、広域周遊観光に寄与する取組を通じて、地域全体の誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 上越地域広域観光パンフレット作成委託料 (900)  
上越市及び妙高市・糸魚川市の観光スポット等の魅力を県内外へ発信するため、広域観光情報誌「ニイガタしっぽ旅」を年2回発行した。
- (2) 「上越地域SEA TO SUMMIT」の開催 (1,000)  
上越・妙高・糸魚川エリアの広域観光ブランドの確立を図るため、アウトドアブランドの(株)モンベルによる環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」を開催した。
- (3) 上越地域観光情報誌読者アンケート景品(26)  
上越・妙高広域観光パンフレット「上越・妙高jam旅」の読者アンケート景品を購入・発送した。

決算書 (P 300～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

近隣自治体及び県と連携し、上越地域の様々な魅力を情報誌にまとめて発信した。また、「SEA TO SUMMIT」は、自治体を始め、上越観光コンベンション協会や上越商工会議所などで構成する実行委員会を組織して開催し、当地域の広域周遊観光やアウトドアのイメージづくりを行うとともに、各市が持つ魅力的な観光資源を組み合わせで発信することができた。

佐渡広域観光誘客事業 864

○令和 5 年度目標

カーフェリーの再就航や、今後、見込まれる「佐渡島（さど）の金山」の世界遺産登録を好機と捉え、航路の利用促進を図るとともに市内経済の活性化につなげるため、佐渡市及び市内の観光関係団体等と連携した情報発信や周遊観光の促進に向けた取組を強化する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 佐渡市・上越市観光・航路連携協議会（803）

- ・県外からの誘客促進を図るため、信越放送主催の「大人の文化祭」（開催地：長野市）にPRブースを出展し、両市の観光プロモーションを行った。
- ・小木直江津航路を利用し、両市に立ち寄る又は宿泊を伴う旅行商品を造成した旅行会社に対し、補助金を交付した（ツアー本数 2 本、ツアー参加者 60 人、補助金額 450 千円）。
- ・小木直江津航路を往復利用する市民等に対し、佐渡市と上越市で使用できるクーポン券を配布した。
- ・佐渡汽船株が行う直江津港下船後の駅へのライナー運行事業に対し、補助金を交付した。

(2) その他（61）

「佐渡島の金山」世界遺産登録へ向けた新聞広告掲載料（55）、会議等出席旅費（6）

○目標達成状況

佐渡市と連携し、長野県内のイベントにPRブースを出展し、両市の観光パンフレットの配布や金塊つかみ体験を通じて、小木直江津航路の利用促進に向けた効果的なPRができたほか、小木直江津航路を利用する旅行商品への補助金により、小木直江津航路の利用促進を行うことができた。

決算書 (P 300～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

観光宣伝物作成事業 5,655

○令和5年度目標

他の自治体が発行しているパンフレットの掲載内容や近年のトレンドを踏まえ、来訪者の目線で分かりやすく、かつ、当市の魅力が十分に伝わる宣伝物を作成し、誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) パンフレットの作成 (4,944)

名称	内容	作成数
総合パンフレット 「上越物語」[増刷]	当市の観光情報を提供し、各地域への周遊を促す内容の総合パンフレット	40,000部
春日山城跡めぐり [増刷]	春日山城跡及び周辺を紹介し、城跡の散策を促す内容のパンフレット	40,000部
高田まちなか回遊マップ [更新・増刷]	高田地区の観光情報を分かりやすく盛り込んだマップ	40,000部

(2) 画像編集ソフトの購入 (59)

観光PR時に掲出するポップなどの作成に必要な画像編集ソフトの年間使用権を購入した。

(3) JR首都圏主要駅における観光PRポスターの掲出 (553)

首都圏のJR駅利用者に対し、高田城址公園観桜会をPRするためのポスターの作成及び掲出を行った。

(4) 上田市・上越市桜まつりポスター作成 (99)

両市で開催している春の桜まつりを共同で発信することにより、姉妹都市として市民交流の促進と連携強化を図った。

○目標達成状況

来訪者の目線で分かりやすく掲載内容を適宜更新しパンフレットを作成・配布したことで、当市の魅力を発信した。

観光インフォメーション利用環境整備事業 39,864

○令和5年度目標

観光情報の発信やサービスの提供、来訪者の属性・行動特性等の収集を行うアプリを導入する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 観光アプリケーション作成等業務委託料 (39,864)

- ・当市来訪者の観光動向に関するビッグデータを取得・分析し、来訪者属性や滞在時間、回遊状況などについて分析を行った。
- ・上記分析結果を踏まえ、ターゲット等を絞ったSNS (Instagram) 広告を実施した。
- ・高田城址公園観桜会の来訪者に対し、LINEアプリを活用し上越市立歴史博物館やうみがたりなど市内10カ所の回遊を促進するためスタンプラリーを実施した。

決算書 (P 300～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

- ・LINEアプリを導入し、来訪者の属性や移動手段などの行動特性の情報を収集することができた。
- ・ターゲットを踏まえたSNS広告により、効果的な来訪促進に向けた取組を検討する上でデータを取得できた。
- ・アプリを活用したスタンプラリーでは、来訪者の市内回遊を促進した。

謙信公ゆかりの地振興事業 739

○令和5年度目標

企画展入込数の目標 27,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設管理運營業務委託 (465)

上越市埋蔵文化財センターにおいて企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」を開催した。

会 期：令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

入 込 数：	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	22,713人	26,220人	23,741人

内 容：上杉謙信公の生涯を紹介するパネルやゆかりの品の展示を始め、春日山城のジオラマ、ゲームやクイズも取り入れ、楽しみながら学ぶことができる展示を実施した。

周知方法：「上杉謙信公のふるさと・上越市」の知名度向上及び企画展への誘客促進を図るため、企画展の周知チラシや「上越観光Navi」等を活用し、市内外に広く周知するとともに、上越IC、上越高田ICから企画展会場への誘導看板を設置し、案内を行った。

(2) その他事業関係費 (274)

燃料費、消耗品費、修繕料等

○目標達成状況

企画展の入込数は、昨年度比で2,479人の減少となり、目標に対する達成率は約88%にとどまった。

「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業 22,817

○令和5年度目標

春日山城跡での武将隊による対面のおもてなしを通じ、来訪者の満足度向上を図るとともに市外の観光イベント等への出演やYouTube、SNSなどを活用した魅力発信により、知名度の向上を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 観光客受入体制充実事業委託料 (22,634)

- ・春日山城跡や上越市埋蔵文化財センターにおいて、観光案内や写真撮影などのもてなし活動を行った。

決算書 (P 300～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

・市内外での観光PRやイベント出演などに加え、SNSへの動画投稿を通じて「上杉謙信公のふるさと・上越市」及び観光情報を全国に発信した。

(2) 事業用車両点検整備等 (182)

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、市内外で行われるイベントへの積極的な参加や対面による観光案内を行ったほか、SNSやYouTubeを活用した情報発信を引き続き行い、様々な手法での知名度向上が図られた。

灯の回廊事業 (4, 315)

○令和5年度目標

入込数：18,000人

○実施内容、これまでの経過等

開催日 令和6年2月17日(土)、24日(土)

会場 浦川原区、牧区、三和区 (17日)  
安塚区、大島区、高土区、名立区 (24日)

主催 うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会、牧まちづくり実行委員会、三和の自然と地域を育む会、安塚キャンドルロード実行委員会、大島雪ほたるロード実行委員会、高土地区雪まつり実行委員会、輝く里不動の会、上越市

事業内容 新たに三和区を加え市内7地区を会場に、上越市の冬のイベントとして雪灯りイベントを開催した。

開催エリアの拡大等の理由により、来場者が会場を全て訪れることができないことが懸念されるため、令和5年度より開催日を2週に分けて開催した。

・開催内容

実施地区7地区、キャンドル設置：17か所、茶屋開設：14か所

・経費の内訳

消耗品(ろうそく、紙コップ)	(3,106)
ポスター・パンフレット作成	(407)
ポスター・パンフレット市外等郵送料	(120)
パンフレット市内全戸配布運搬料	(303)
バス運行业務委託料	(374)
道路使用許可申請手数料	(5)

・入込数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入込数	11,930人	14,380人	16,800人

○目標達成状況

令和4年度に比べて入込数が2,420人増加したものの、目標に対し1,200人下回り、達成することができなかった。

決算書 (P 300～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

インバウンド推進事業 14

○令和5年度目標

外国人旅行者の誘客に向け、インバウンド推進協議会の意見を参考にしながら、トレンドに沿った効果的で質の高い情報発信を行うとともに、市内観光事業者等が行う受入態勢の環境整備を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 商談会等参加旅費 (14)

韓国・中国の観光事業者との商談会に参加し、当市の観光資源を紹介し、旅行商品の造成を促した。

(2) インバウンドセミナーの開催

上越地域振興局、妙高市、糸魚川市と連携して市内観光事業者向けにインバウンドセミナーを開催した。

○目標達成状況

観光商談会において外国人に訴求できる観光コンテンツを紹介し、当市への来訪に向けた旅行商品の造成を促したほか、J N T O (日本政府観光局) のウェブサイト等の海外向け媒体を利用し、当市の情報発信を行った。また、上越地域振興局、妙高市、糸魚川市と連携して市内観光事業者向けにインバウンドセミナーを開催し、受入態勢を支援した。

信越トレイル利用促進事業 20

○令和5年度目標

信越トレイルの測定可能な箇所での利用者数:6,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・信越トレイルコースと市内観光施設への利用者増加につなげるため、上越観光N a v i による情報発信やパンフレットを配置するなどP Rを行った。
- ・利用者数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	3,529人	2,817人	2,577人

○目標達成状況

上越観光N a v i による情報発信やパンフレットを配置するなどP Rを行ったが、利用者数が2,577人(目標6,000人:達成率約43%)となり、目標を大幅に下回った。

【事業の成果】

- ・総務省の地域活性化起業人制度を活用し、上越観光コンベンション協会が、(株)阪急交通社から派遣された職員のノウハウをいかした営業活動を実施し、当市への立ち寄りや宿泊を伴う旅行が増加したほか、「着物の着付け体験」や「蔵元見学」など、当市の資源をいかした新たな商品造成を行うことができた。
- ・上越地域連携事業では、情報誌の発行や環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」の開催を通じ、近隣自治体や観光協会との連携体制を強めることができた。

決算書 (P 300～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

- ・佐渡広域観光誘客事業では、佐渡市・上越市観光・航路連携協議会の活動において小木港及び直江津港を利用する旅行商品への補助金により、小木直江津航路の利用が促進された。
- ・各種宣伝物の作成においては、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、需要が見込まれたことから、印刷部数を増刷するとともに、掲載内容を旅行者が必要とする情報にアップデートすることで、当市の魅力を発信することができた。
- ・高田城址公園観桜会において、新たにLINEを活用した各種サービスを提供し、当市来訪時の市内回遊を促進した。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域活性化起業者制度を活用した派遣職員が令和 5 年度をもって退任したことから、これまでに開発した商品を埋没させることなく効果的に販売していくため、これまで以上に観光事業者等と連携し、開発した商品を発信していく必要がある。
- ・上越地域連携事業においては、観光客のニーズが一層多様化し、一つの自治体だけでは観光客を満足させることは難しいことから、今後も地域間競争に負けない観光地づくりを行うため、引き続き県や近隣自治体と連携事業に取り組む必要がある。
- ・「佐渡島の金山」の世界遺産登録により交流人口の拡大が見込まれることから、当市としても時機を逸することなく、情報発信と市内での観光需要が高まる取組を強化していく。
- ・旅行者が求める情報が多様化していることから、紙面構成や情報量を適宜見直し、当市の魅力が伝わるパンフレットを発行する。
- ・「越後上越上杉 おもてなし武将隊事業」においては、新メンバーの加入に伴い、更なる活躍が期待されることから、SNS 投稿回数を増やすなど、旅行者の満足度向上と来訪に結びつく活動を検討する。

#### 【執行残について】

- 事業費節減：観光営業事業に係る委託内容及び出展参加の精査に伴う執行残 1,565  
観光宣伝物作成事業に係る委託内容の見直し等に伴う執行残 390  
謙信公ゆかりの地振興事業に係る委託内容見直しに伴う執行残 368  
観光地域づくり実践事業に係る実施内容の見直しに伴う執行残 671
- 事業未実施：佐渡広域観光誘客事業において、世界遺産登録の見送りを踏まえ、宿泊プラン造成支援業務委託の事業を見送ったことによる執行残 2,950  
謙信公ゆかりの地振興事業において、ノベルティの在庫が充足していたことから新たに作成を行わなかったこと等による執行残 1,147
- 入札差金：上越地域連携事業に係る印刷製本費の入札差金 100  
灯の回廊事業に係る印刷製本費の入札差金 182  
観光地域づくり実践事業に係る委託料等の入札差金 174
- その他：佐渡広域観光誘客事業に係る負担金や観光営業事業に係る運搬料、「越後上越 上杉おもてなし武将隊」の出陣回数、インバウンド推進事業補助金の申請数、灯の回廊事業及び謙信公ゆかりの地域振興事業などに係る事務経費等が、当初見込みを下回ったこと等による執行残 9,167

(単位：千円)

決算書 (P302～P303)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	越後田舎体験推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,203	8,015				4,058 (繰入)	3,957
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	188				188	

**【目的】**

当市の豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしをいかした体験型観光を通じて、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和5年度目標

情報発信の強化などにより営業活動の充実を図り、受入数40団体以上、3,000人以上、6,000泊以上とする。また、新型コロナウイルス感染症の影響や同感染症の分類引き下げに伴うニーズの変化に対応するため、既存コンテンツの磨き上げや新たなコンテンツの造成など、受入体制を整備する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・事業主体 越後田舎体験推進協議会
- ・市内受入地域 安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、大潟区、吉川区、板倉区、清里区、三和区及び名立区(11区)

## (1) 受入体制の維持・強化に係る取組(4,939)

- ・越後田舎体験推進協議会の事務局を担っていた公益財団法人雪だるま財団が令和4度をもって解散したことに伴い、事務局を公益社団法人上越観光コンベンション協会へ委託した。
- ・受入地域開拓のための周知、勧誘活動、新たなコンテンツの造成

## (2) 各種営業活動、研修会等への参加(555)

首都圏、県内他市、近隣県の旅行代理店や学校等へ営業訪問した。

## (3) 越後田舎体験推進協議会負担金等の支出(1,886)

## (4) 越後田舎体験事業での受入れ等に係る消耗品の購入ほか(635)

決算書 (P 302～P 303)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	越後田舎体験推進事業		

○目標達成状況

- ・受入団体数はコロナ禍前に戻りつつあるものの、民泊の受入れを休止していることや、コロナ禍で学校のニーズが変化しているなどの理由から、受入人数及び宿泊数が伸び悩み、目標を達成できなかった。
- ・越後田舎体験受入数の推移

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
団体数 (団体)	35	40	38
人数 (人)	2,576	2,813	2,273
宿泊数 (泊) ※延べ宿泊数	1,566	4,546	4,106

【事業の成果】

- ・受入数は、目標を達成することができなかったが、売上げは、宿泊施設、インストラクター及び受入家庭である市民の収入となっており、地域経済の振興に寄与した。
- ・学校や企業等でのものづくり体験や農業体験のほか、探究学習を活用した新たな体験プログラムによる受入れを行うなど、様々な体験を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・受入家庭の高齢化が進んでいることから、農家民宿の活用や民泊受入農家の維持に取り組んでいく必要がある。
- ・教育旅行のニーズ変化を踏まえた体験プログラムの造成のほか、企業研修や外国人旅行客、市内の小・中学生など新たな顧客の獲得に取り組む必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 188

(単位：千円)

決算書 (P302～P305)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
133,714	128,566		4,821		6,734 (使用料、財産収入、譲収入)	117,011
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	5,148				5,148	

## 【目的】

市内観光施設を適切に維持管理することにより、当市の豊かな自然と歴史文化に触れる場を提供し、観光誘客と地域振興を図る。

## 令和5年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和5年度目標

各公園や海水浴場等の観光施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。

## ○実施内容、これまでの経過等

<合併前上越市> 82,983

## [維持管理施設]

春日山城跡(駐車場、公衆トイレ)、愛の風公園(公衆トイレ)、愛宕谷公園(公衆トイレ)、親鸞聖人上陸の地(駐車場)、鏡ヶ池公園、前島記念公園、芳澤記念公園(記念館)、寺町駐車場、寺町3丁目公衆トイレ、国分寺駐車場(公衆トイレ)、居多神社前駐車場(公衆トイレ)、南高田駅前輪場、林泉寺駐車場(公衆トイレ)、浄興寺公衆トイレ、高田駅前公衆トイレ、直江津駅前公衆トイレ、西ヶ窪浜公衆トイレ、心のふるさと道、南葉山登山道、なおえつ海水浴場、たにはま海水浴場、谷浜跨線橋、上越妙高駅観光案内所及び商業施設、直江津駅前観光案内所、高田駅前観光案内所、観光案内看板、公衆無線LAN等

## [維持管理経費]

報酬 139 (会計年度任用職員報酬)  
 旅費 8 (会計年度任用職員費用弁償6、普通旅費2)  
 需用費 16,201 (消耗品費771、光熱水費7,239、修繕料8,191)  
 役務費 4,348 (光回線・機器利用料2,248、し尿くみ取り手数料2,100)  
 委託料 43,009 (看板作成委託料198、施設管理委託料581、観光施設清掃・整備委託料3,809、各公園等管理委託料2,939、公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料5,678、海岸清掃・整備委託料15,698、海水浴場事業委託料12,913、観光案内板差替委託料1,024等)  
 使用料及び賃借料 5,458 (上越妙高駅観光案内所及び商業施設用地借上料3,367等)  
 工事請負費 8,690 (看板撤去工事)

決算書 (P 302～P 305)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等整備事業		

備品購入費 191 (事業用備品購入費)  
 負担金補助及び交付金 4,939 (公衆無線LAN機器電気料負担金 4、谷浜跨線橋点検費負担金 4,666、たにはま海水浴場臨海学校受入整備事業補助金 269)

<安塚区> 1,160

[維持管理施設]

直峰城跡 (公衆トイレ)、信越トレイル、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 28 (消耗品 3、光熱水費 25)  
 役務費 4 (浄化槽検査手数料)  
 委託料 375 (公園等管理委託料)  
 使用料及び賃借料 660 (雪だるま高原及び観光看板用地借地料)  
 原材料費 93 (補修資材等)

<浦川原区> 1,080

[維持管理施設]

霧ヶ岳公園 (屋外トイレ、駐車場)

[維持管理経費]

需用費 113 (消耗品 6、光熱水費 107)  
 役務費 9 (浄化槽検査手数料)  
 委託料 599 (施設管理、浄化槽維持管理)  
 使用料及び賃借料 218 (土地借地料)  
 工事請負費 141 (観光看板撤去等工事)

<牧区> 1,739

[維持管理施設]

弘法清水自然公園、信越トレイル接続道 (宇津俣峠)、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 406 (消耗品費 4、光熱水費 33、修繕料 369)  
 役務費 138 (水質検査手数料)  
 委託料 1,120 (公園等管理業務委託料)  
 使用料及び賃貸料 75 (弘法清水公園用地、看板用地借地料)

<柿崎区> 13,310

[維持管理施設]

柿崎中央海水浴場 (駐車場、公衆トイレ)、大出口公園 (公衆トイレ)、坂田池園地 (駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、米山登山道、下牧休憩施設、上下浜温泉源泉施設、観光案内看板等

[維持管理経費]

報酬 30 (草刈作業報奨金等)  
 需用費 4,810 (消耗品費 88、光熱水費 664、修繕料 4,058)  
 役務費 519 (トイレ汲み取り手数料 498、浄化槽検査手数料ほか 21)  
 委託料 7,604 (海水浴場事業委託料 4,327、観光施設清掃・整備委託料等 3,277)  
 使用料及び賃借料 298 (観光施設用地借地料)  
 原材料費 49 (補修資材等)

決算書 (P 302～P 305)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等整備事業		

<大潟区> 7,344

[維持管理施設]

鵜の浜海水浴場（鵜の浜海岸、公衆トイレ）、人魚伝説公園、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 2,051（消耗品費 18、光熱水費 204、修繕料 1,829）  
 役務費 201（トイレ汲み取り手数料等）  
 委託料 4,703（海水浴場事業委託 4,144、ごみ回収運搬処理業務委託料等 559）  
 使用料及び賃借料 389（看板用地借地料 326、下水道使用料 63）

<頸城区> 5,214

[維持管理施設]

大池いこいの森（キャンプ場、遊歩道、駐車場、公衆トイレ、観光案内看板等）

[維持管理経費]

需用費 1,653（消耗品費 24、光熱水費 280、修繕料 1,349）  
 役務費 514（トイレ汲み取り手数料等）  
 委託料 2,310（公園等管理委託料 2,230、公衆トイレ浄化槽維持管理委託料 80）  
 使用料及び賃借料 634（大池いこいの森施設用地等借地料 551、集落排水使用料 83）  
 原材料費 16（舗装用砕石等）  
 補償、補填及び賠償金 87（大池いこいの森等踏荒補償料）

<吉川区> 2,532

[維持管理施設]

長峰池公園（駐車場、公衆トイレ、遊歩道）、尾神岳遊歩道・展望台、パノラマハウス、尾神岳公衆トイレ、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 600（消耗品費 25、光熱水費 116、修繕料 459）  
 役務費 50（浄化槽検査手数料 26、トイレ汲み取り手数料 22、収入印紙代 2）  
 委託料 1,578（公園等管理委託料 1,284、浄化槽及び清掃維持管理委託料 294）  
 使用料及び賃借料 241（観光施設等用地借地料）  
 原材料費 63（補修資材等）

<中郷区> 6,766

[主な維持管理施設]

泉縄文公園（駐車場、公衆トイレ）、桜並木、松ヶ峯温泉源泉施設、松ヶ峯公衆トイレ

[維持管理経費]

報酬 588（公衆トイレ及び温泉施設、泉縄文公園会計年度任用職員報酬）  
 需用費 2,231（消耗品費 19、光熱水費 1,357、修繕料 855）  
 役務費 86（浄化槽検査手数料 9、源泉監視カメラ通信料 77）

決算書 (P 302～P 305)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等整備事業		

委託料 3,705 (公園等管理業務委託料 3,032、松ヶ峯温泉源泉ガスセパレーター  
清掃業務委託料 275、道路脇支障木伐採等業務委託料 260、公衆ト  
イレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 138)  
使用料及び賃借料 156 (観光案内看板用地借地料 143、下水道使用料 13)

<板倉区> 2,064

[維持管理施設]

箕冠城址公園、山寺薬師公衆トイレ、聖の窟、玄藤寺湖畔公園、信越トレイル接続道(光ヶ原、  
筒方峠、久々野峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 323 (燃料費 62、光熱水費 72、修繕料 189)

役務費 14 (手数料)

委託料 1,580 (施設管理委託料 139、観光施設清掃・整備委託料 567、各公園等管  
理委託料 606、公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料 268)

使用料及び賃借料 147 (土地賃借料)

<清里区> 713

[維持管理施設]

信越トレイル接続道(梨平峠)

[維持管理経費]

需用費 273 (修繕料)

委託料 440 (観光施設清掃・整備委託料)

<三和区> 141

[維持管理施設]

東部緑地公園、観光案内看板等

[維持管理経費]

委託料 140 (公園管理委託料)

使用料及び賃借料 1 (観光看板用地等借上料)

<名立区> 290

[維持管理施設]

不動山登山道、観光案内看板等

[維持管理経費]

委託料 290 (不動山登山道整備業務委託料)

■地域独自の予算事業 3,230

・大池いこいの森施設運営事業(頸城区)(3,230)

○目標達成状況

各観光施設を適切に維持管理することで、利用者の受入環境の向上が図られたとともに、重大事故もなく、観光誘客と地域振興につなげることができた。

決算書 (P 302～P 305)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等整備事業		

**【事業の成果】**

各観光施設を定期的に見回り、施設の清掃や遊具の点検などを実施したほか、破損個所を適切に修繕したことで、重大事故もなく、安全・安心で快適な利用環境を提供することができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・市内 4 か所の海水浴場について、令和 6 年能登半島地震により津波が到来した状況を踏まえ、安全・安心に利用していただけるよう避難体制を構築する。
- ・施設の定期的な見回りや危険個所の修繕や草刈り等を実施することで、安全かつ快適に利用してもらおうとともに、施設の長期的な利用を図る必要がある。

**【執行残額について】**

そ の 他：事業実施に伴う執行残 5,148

(単位：千円)

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
833,843	736,643			185,900	1,975 (財産収入 諸収入)	548,768
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
11,166	86,034			4,842	81,192	

**【目的】**

当市を訪れる観光客に安らぎと憩いの場を提供し、市内での長期滞在を促すことにより、市民との交流の促進や域内消費の拡大につなげ、地域の活性化を図る。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和5年度目標

- ・指定管理者制度導入13施設の利用者数 770,810人

※指定管理者から指定管理更新時に提出された令和5年度の事業計画書に基づく利用者数

観光施設等管理総務費 183

## ○実施内容、これまでの経過等

くわどり湯ったり村、ゆったりの家、ヨーデル金谷の新たな指定管理者の指定に向け、指定管理者選定委員会を開催

## &lt;指定管理者制度導入施設 13施設&gt;

- ① 五智歴史の里会館
- ② リフレッシュビレッジ施設 (くわどり湯ったり村)
- ③ リフレッシュビレッジ施設 (ゆったりの家)
- ④ リフレッシュビレッジ施設 (ヨーデル金谷)
- ⑤ 安塚雪だるま高原
- ⑥ 牧湯の里深山荘
- ⑦ 柿崎マリンホテルハマナス
- ⑧ 大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館
- ⑨ 吉川スカイトピア遊ランド
- ⑩ 吉川ゆったりの郷
- ⑪ 板倉保養センター
- ⑫ ぬしんの里記念館
- ⑬ うみてらす名立

## &lt;廃止し、令和5年度中に除却した施設 1施設&gt;

- ⑭ 大島あさひ荘

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

- ・利用者数（指定管理者制度導入13施設の利用者数）

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計 画	実 績
利用者数	572,909人	663,907人	770,810人	718,217人

<① 五智歴史の里会館>

○実施内容、これまでの経過等

- ・施設の概要

所在地	国府1丁目18番28号
設置	平成19年度
構造	木造
面積	延床240㎡
管理	指定管理

- ・指定管理の状況

導入開始年度	平成19年度
指定管理者	五智歴史の里協議会
指定の期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

○施設の管理実績

- ・利用者数等

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計 画	実 績
利用者数	11,160人	12,440人	18,000人	12,920人

- ・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			予算現額	実 績
①収入	-	-	-	-
②支出	五智歴史の里会館 管理運営委託料	5,857	5,857	5,857
	エネルギー価格高騰 補填金※	-	119	139
	その他	114	344	490
	合計	5,971	6,320	6,486
③公費投入額（②-①）	5,971	6,320	6,486	6,451
④利用者1人当たりの 公費投入額（単位：円）	535	508	360	499

※エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	-	17	3	-
	五智歴史の里会館 管理運営委託料	5,857	5,857	5,857	5,857
	エネルギー価格高騰 補填金	-	119	-	113
	その他	532	639	750	843
②支出		6,514	6,828	6,717	6,856
差引(①-②)		△125	△196	△107	△43

<②～④ リフレッシュビレッジ施設>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

②くわどり湯ったり村

所在地 大字皆口 601 番地  
 設置年度 平成 11 年度  
 構造 鉄筋コンクリート造  
 面積 延床 2,524 m<sup>2</sup>  
 管理 指定管理

③ゆったりの家

所在地 大字横畑 659 番地  
 設置年度 平成 14 年度  
 構造 木造  
 面積 延床 154 m<sup>2</sup>  
 管理 指定管理

④ヨーデル金谷

所在地 大貫 2 丁目 17 番 40 号  
 設置年度 平成 11 年度  
 構造 鉄骨造  
 面積 延床 400 m<sup>2</sup>  
 管理 指定管理

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理の状況

くわどり湯ったり村、ゆったりの家

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年4月1日から令和5年5月31日まで リフレ上越山里振興株式会社（以下、リフレ社）</li> <li>令和5年6月1日から令和7年3月31日まで オーガニックリゾートホールディングス株式会社（以下、オーガニック社）</li> </ul>
指定の期間	令和5年6月1日から令和7年3月31日まで

ヨーデル金谷

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年4月1日から令和5年5月31日まで リフレ上越山里振興株式会社（以下、リフレ社）</li> <li>令和5年6月1日から令和7年3月31日まで 株式会社ミーナハライペ（以下、ミーナ社）</li> </ul>
指定の期間	令和5年6月1日から令和7年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画※1	実績※2
くわどり湯ったり村	29,379人	28,646人	40,550人	27,716人
うち宿泊	1,893人	2,589人	1,400人	982人
うち日帰り温泉	16,674人	15,292人	20,500人	15,813人
うち食堂	10,154人	9,576人	10,500人	10,236人
ヨーデル金谷	17,664人	17,612人	20,000人	22,105人
ゆったりの家	196人	137人	250人	30人
合計	47,239人	46,395人	60,800人	49,851人

※1 リフレ社が令和5年度の事業開始前に作成した事業計画の値

※2 リフレ社、オーガニック社及びミーナ社がそれぞれ管理した期間の実績値の合算

また、くわどり湯ったり村では、令和5年4月から6月まで指定管理者の変更等に伴い宿泊及び宴会利用を休止、令和6年2月1日から3月22日まで施設修繕のため休館

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			予算現額	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	3,735	5,740	30,830	29,142
	リフレッシュビレッジ施設 管理運営委託料	42,933	49,936	70,782	64,104
	再算定による 増減額※1	-	-	-	△6,678
	工事請負費	1,032	1,296	1,584	1,584
	施設購入費	-	-	2,617	2,617
	備品購入費	411	4,453	2,001	2,000
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	4,698	-	-
	令和6年能登半島 地震損害補填金※3	-	-	1,399	288
	清算補助金	-	-	55,954	55,927
	その他	1,580	35	510	235
合計	49,691	66,158	165,677	155,897	
③公費投入額 (②-①)	49,691	66,158	165,677	155,897	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	1,052	1,426	2,725	3,127	

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額
- ※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの
- ※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

○リフレ上越山里振興清算補助金

- ・リフレ上越山里振興株式会社の解散・清算に当たり、同社の債務整理及び清算事務に係る費用を支援したもの
- ・同社は、令和5年9月末日に解散し、債務整理は終了している。
- ・損害賠償請求が決着した後、速やかに事務処理を行い、清算終了となる見込み
- ・その際、市は、必要に応じて清算諸費用に係る清算補助金を交付する予定

区分	補助対象経費	予算現額	実績	備考
リフレ上越山里 振興清算補助金	借入金返済等	55,954	37,047	えちご上越農業協同組合
			6,707	上越信用金庫
			6,173	日本政策金融公庫
			6,000	その他
合計		55,954	55,927	

※当初補正額 60,000 千円のうち 4,046 千円 (清算諸費用分) は令和6年度に繰越

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況（3施設合計）

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			計画※1	実績※2	
①収入	利用料金収入	82,136	91,662	89,910	80,715
	リフレッシュビレッジ施設 管理運営委託料	39,030	45,397	63,185	58,275
	再算定による 増減額	-	-	-	△4,910
	エネルギー価格高騰 補填金	-	4,698	-	-
	令和6年能登半島 地震損害補填金	-	-	-	288
	その他	25,057	3,544	500	2,367
②支出	134,424	141,829	152,524	140,197	
差引（①－②）	11,799	3,472	1,071	1,448	

※ 金額は全て税抜き

※1 リフレ社が令和5年度の事業開始前に作成した収支計画の値

※2 リフレ社、オーガニック社及びミーナ社の実績値の合計（下の内訳表①及び②の令和5年度実績の合計）

【内訳表①（くわどり湯ったり村、ゆったりの家）】

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
			リフレ社	オーガニック社	合計	
①収入	利用料金収入	46,377	55,575	4,893	28,192	33,085
	リフレッシュビレッジ施設 管理運営委託料	32,630	35,922	10,108	41,242	51,350
	再算定による 増減額	-	-	2,090	1,453	3,543
	エネルギー価格高騰 補填金	-	3,739	-	-	-
	令和6年能登半島 地震損害補填金	-	-	-	179	179
	その他	18,017	2,881	78	2,254	2,332
②支出	91,062	96,431	15,149	72,324	87,473	
差引（①－②）	5,962	1,686	△70	△457	△527	

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・オーガニック社では、インターネット予約の強化により利用客の増加を図ったほか、仕入価格の見直しや燃料の節減等による経費節減を図り、収支改善に取り組んだ。

決算書 (P 304～P 307)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

【内訳表②（ヨーデル金谷）】

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
			リフレ社	ミーナ社	合計
①収入					
利用料金収入	35,759	36,087	7,456	40,174	47,630
リフレッシュビレッジ施設 管理運営委託料	6,400	9,475	3,135	3,790	6,925
再算定による 増減額	-	-	2,073	△1,518	555
エネルギー価格高騰 補填金	-	959	-	-	-
令和 6 年能登半島 地震損害補填金	-	-	-	109	109
その他	7,040	663	35	-	35
②支出	43,362	45,398	10,834	41,890	52,724
差引（①－②）	5,837	1,786	△208	2,183	1,975

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

ミーナ社では、パンフレット作成等により地域との連携を深め、地域住民など施設周辺からの誘客を図ったほか、DXによる効率的な経理事務を推進し、経費節減を図った。

<⑤ 安塚雪だるま高原>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

キューピットバレイスキー場

所在地 安塚区須川 4820 番地

設置年度 平成 2 年度 ※平成 11 年度に民間事業者から譲り受け、公の施設として管理

構造 鉄骨造(センターハウス、ゴンドラ、リフト)、木造(ビレッジ)

面積 延床 14,587 m<sup>2</sup>(センターハウス、ビレッジ等)

管理 指定管理

棚田動植物公園

所在地 安塚区須川 11584 番地

設置年度 平成 15 年度

管理 指定管理

ゆきだるま温泉久比岐野

所在地 安塚区須川 2352 番地

設置年度 平成 2 年度

構造 木造

面積 延床 1,630 m<sup>2</sup>

管理 指定管理

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理の状況

導入開始年度	平成16年度
指定管理者	株式会社スマイルリゾート
指定の期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
キューピットバレイスキー場	55,181人	56,341人	66,220人	60,328人
うちスキー場利用	54,600人	55,000人	60,000人	55,550人
うちビレッジ宿泊	581人	1,341人	1,720人	1,340人
棚田動植物公園	584人	697人	1,780人	544人
うちキャンプ宿泊	584人	697人	780人	367人
ゆきだるま温泉久比岐野	7,218人	7,589人	10,000人	9,138人
合計	62,983人	64,627人	78,000人	70,010人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			予算現額	実績	
①収入	-	5,400	1,785	-	
②支出	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	33,897	47,844	37,893	33,847
	再算定による 増減額※1	10,797	17,485	-	△4,046
	その他委託料	-	307	3,548	3,547
	備品購入費	-	8,811	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	7,355	10,564	6,751
	令和6年能登半島 地震損害補填金※3	-	-	12,827	6,631
	その他	1,058	3,847	159	149
	雪国文化村リゾート 推進事業	106,659	99,619	720,240	235,421
合計	141,614	167,783	785,231	286,346	
③公費投入額 (②-①)	141,614	162,383	783,446	286,346	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)	2,248	2,513	10,044	4,090	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

決算書 (P 304～P 307)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	66,264	76,947	92,325	78,134
	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	30,815	43,494	28,243	30,770
	再算定による 増減額	9,815	15,895	-	2,527
	エネルギー価格高騰 補填金	-	7,355	-	6,751
	令和 6 年能登半島 地震損害補填金	-	-	-	6,631
	その他	68,621	84,812	91,537	82,225
②支出	187,615	209,306	210,694	214,105	
差引 (①-②)	△21,915	3,302	1,411	△9,594	

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

【夏期営業】

越後田舎体験の受入れを積極的に行い、7校を受け入れたほか、アウトドア初心者向けの宿泊プランを販売するなど、キューピットビレッジ利用客の増加による収支改善を図った。

【冬期営業（スキー場営業）】

- ・「大人のソリ遊び」や「Old Style day」などのイベント開催や、ツリーランエリアやキッズパークの設置などにより集客増加に取り組んだ。
- ・また、物価高騰に対応するため一部リフト券やレストランメニュー等の価格を見直すなど、収益確保に向けた取組を行った。

○インクルーシブ野外活動推進事業 3,547

- ・インクルーシブ野外活動は、ハンディキャップを持つ人も家族や友人と同じ野外活動の機会と時間を楽しむことができるように工夫する取組である。令和 5 年度は、インクルーシブ野外活動の専門知識や技術を持つ指導員の養成講座を行い、14人が修了した。
- ・また、学校スキー授業における実証事業として、令和 4 年度からの継続 2 校、新規 2 校を受け入れ、支援を必要とする児童がクラスメイトと一緒に授業を受けることができる体制づくりに努めた。

決算書 (P 304～P 307)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

<⑥ 牧湯の里深山荘>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	牧区宇津俣 285 番地
設置年度	昭和 61 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 2,929 m <sup>2</sup>
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 27 年度 (平成 27 年 10 月 1 日から)
指定管理者	株式会社太平堂
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
			計 画	実 績
利用者数	8,071 人	11,111 人	15,100 人	19,397 人
うち宿泊	760 人	1,138 人	1,000 人	1,662 人
うち日帰り温浴	4,088 人	4,489 人	9,550 人	7,321 人
うち食堂	1,979 人	2,302 人	2,200 人	3,560 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
			予算現額	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	3,094	2,765	4,602	3,527
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	16,229	20,035	19,845	18,570
	再算定による 増減額※1	-	-	-	△1,975
	使用料及び賃借料	375	375	364	362
	備品購入費				118
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	1,579	772	-
	令和 6 年能登半島 地震補填金※3	-	-	343	160
その他	1,405	94	214	94	
合計	21,103	24,848	26,140	22,831	
③公費投入額 (②-①)	21,103	24,848	26,140	22,831	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	2,615	2,236	1,731	1,177	

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額
- ※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの
- ※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績※
①収入	利用料金収入	19,540	24,962	34,975	36,196
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	16,229	20,035	18,171	16,882
	再算定による 増減額※1	-	-	-	△1,289
	エネルギー価格高騰 補填金	-	1,579	-	-
	令和6年能登半島 地震損害補填金	-	-	-	160
	その他	5,343	2,029	-	1,726
②支出		40,976	48,526	50,723	53,165
差引(①-②)		136	79	2,423	1,799

※令和5年度実績は税抜き、その他は税込み

※1 計画値(税込み)と実績値(税抜き)の差額を記載

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・季節のイベントや地域と連携したイベント等、施設の利用促進に資する事業を行った。
- ・国や県等の各種助成金を積極的に活用したほか、適切な職員の配置を図った。
- ・経費削減のため、仕入れ業者の選定、光熱費、燃料の削減に取り組んだ。

決算書 (P 304～P 307)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

<⑦ 柿崎マリンホテルハマナス>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	柿崎区上下浜 262 番地
設置年度	平成 6 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,992 m <sup>2</sup>
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
			計画	実績
利用者数	11,499 人	12,071 人	13,840 人	12,672 人
うち宿泊	3,261 人	3,952 人	4,350 人	4,431 人
うち日帰り温浴	3,249 人	3,587 人	3,040 人	4,204 人
うち食堂	4,203 人	3,386 人	4,200 人	2,792 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
			予算現額	実績	
①収入	210	58	-	1,054	
②支出	修繕料	10,053	8,830	10,673	10,672
	柿崎マリンホテルハマナス 管理運営委託料	27,892	25,613	29,136	18,337
	再算定による 増減額※1	21,363	-	-	△10,799
	使用料及び賃借料	210	210	210	210
	備品購入費	584	-	497	496
	負担金	530	212	212	212
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	6,355	4,037	1,600
	令和 6 年能登半島 地震損害補填金※3	-	-	1,905	1,647
	その他	484	305	109	108
合計	39,753	41,525	46,779	33,282	
③公費投入額 (②-①)	39,543	41,467	46,779	32,229	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	3,439	3,435	3,380	2,543	

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額
- ※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの
- ※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	54,993	64,089	63,856	79,231
	柿崎マリンホテルハマナス 管理運営委託料	25,356	23,285	26,487	16,670
	再算定による 増減額	19,421	-	-	△9,817
	エネルギー価格高騰 補填金	-	6,355	-	1,600
	令和6年能登半島 地震損害補填金	-	-	-	1,647
	その他	10,510	6,119	26,956	3,431
②支出		90,498	99,249	110,376	99,410
差引(①-②)		361	599	6,923	3,169

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・ 部屋稼働率を上げるために、直前の素泊まりを積極的に受け入れる体制とした。
- ・ 原価高騰の中、取引先を巻き込んだ情報共有に心がけ、安定的に仕入れられる食材を使い、また先を見越した積極的な買い付けや、安価で良質な食材の仕入れ等、原価率の低減につなげた。

<⑧ 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大潟区九戸浜 241 番地 8
設置年度	平成 9 年度
構造	鉄骨造
面積	延床 3,138 m <sup>2</sup>
管理	指定管理

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	72,992人	77,493人	86,870人	88,239人
うち日帰り温浴	42,892人	47,339人	52,600人	55,260人
うちプール	6,130人	6,905人	7,980人	5,917人
うち共通	1,728人	1,628人	1,920人	1,729人
うちプール教室	3,939人	1,849人	1,850人	3,377人
うち各種健康教室	1,370人	1,937人	1,850人	1,759人
うち食堂等	16,933人	17,835人	20,670人	20,197人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			予算現額	実績	
① 収入	79	-	-	847	
② 支出	修繕料	11,198	19,533	12,888	12,887
	鵜の浜人魚館管理 運営委託料	42,885	43,640	50,664	50,127
	再算定による 増減額※1	4,385	-	-	△537
	その他委託料	3,653	3,224	3,731	3,731
	使用料及び賃借料	836	841	841	841
	備品購入費	-	-	-	0
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	10,174	3,591	523
	令和6年能登半島 地震損害補填金※3	-	-	1,312	342
その他	286	88	88	88	
合計	58,858	77,500	73,115	68,539	
③ 公費投入額 (②-①)	58,779	77,500	73,115	67,692	
④ 利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	805	1,000	842	767	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	26,065	27,537	26,365	28,559
	鵜の浜人魚館 管理運営委託料	38,986	39,672	46,058	45,570
	再算定による 増減額	3,986	-	-	△488
	エネルギー価格高騰 補填金	-	10,174	-	523
	令和6年能登半島 地震損害補填金	-	-	-	342
	その他	24,732	26,864	30,120	33,635
① 支出		89,576	102,850	90,933	106,823
差引 (①-②)		207	1,397	11,610	1,806

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

原油価格及び人件費等の高騰による原材料費が高騰しているため、レストランのメニュー単価を見直したほか、プール営業は繁忙期を除き一般利用者向けは時短営業を強化するなど効率的な運営に取り組み、収支改善を図った。

<⑨ 吉川スカイトピア遊ランド>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 吉川区坪野 1458 番地 2  
 設置年度 平成 3 年度  
 構造 鉄筋コンクリート造  
 面積 延床 1,405 m<sup>2</sup>  
 管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社みなもとの郷
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
利用者数		5,437 人	7,143 人	8,200 人	8,770 人
	うち宿泊	859 人	1,474 人	1,300 人	1,685 人
	うち日帰り	4,578 人	5,669 人	6,900 人	7,085 人

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入		-	-	-	-
②支出	修繕料	2,656	3,438	1,686	1,686
	吉川スカイピア遊ランド 管理運営委託料	8,809	11,473	11,074	8,797
	再算定による 増減額※1	6,442	-	-	△2,277
	使用料及び賃借料	1,244	1,062	989	989
	工事請負費	-	178	625	624
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	707	1,053	679
	令和6年能登半島 地震補填金※3	-	-	21	21
	その他	337	-	149	148
合計		13,046	16,858	15,597	12,944
③公費投入額(②-①)		13,046	16,858	15,597	12,944
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		2,399	2,360	1,902	1,476

※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	20,812	32,804	34,800	34,580
	吉川スカイピア遊ランド 管理運営委託料	8,809	11,473	8,451	8,797
	再算定による 増減額	6,442	-	-	346
	エネルギー価格高騰 補填金	-	707	-	679
	令和6年能登半島 地震補填金	-	-	-	21
	その他	7,602	3,312	1,340	1,645
②支出		38,112	48,222	44,591	48,344
差引(①-②)		△889	74	0	△2,622

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・ゲートボール大会（年2回開催）や新たなパラグライダー大会を開催するなど、施設の利用促進と地域の活性化に取り組んだ。
- ・令和6年能登半島地震に伴うチャリティー食事会を開催し、施設の利用促進につなげた。

<⑩ 吉川ゆったりの郷>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区長峰100番地
設置年度	平成9年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床3,457㎡
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	87,354人	110,674人	100,000人	111,958人
うち日帰り温浴	54,077人	68,584人	61,300人	69,099人
うち食堂	30,835人	38,851人	35,500人	39,863人
うちゲートボール場	1,915人	2,557人	2,500人	2,513人

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			予算現額	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	6,853	12,386	28,191	28,190
	吉川ゆったりの郷 管理運営委託料	15,874	9,048	14,882	7,705
	再算定による 増減額※1	15,874	-	-	△7,177
	その他委託料	617	-	-	-
	備品購入費	-	2,345	-	-
	工事請負費	7,247	-	399	399
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	3,284	2,672	790
	令和6年能登半島 地震補填金※3	-	-	1,412	1,410
	指定管理者営業補填 金※4	-	-	6,953	6,953
	その他	297	273	82	81
合計	30,888	27,336	54,591	45,528	
③公費投入額 (②-①)	30,888	27,336	54,591	45,528	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)	354	247	546	407	

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額
- ※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの
- ※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの
- ※4 設備の故障による営業休止期間の営業損害について、損害額を算定し補填したもの

決算書 (P 304～P 307)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	31,739	39,621	37,320	32,690
	吉川ゆったりの郷 管理運営委託料	14,431	8,225	13,529	7,004
	再算定による 増減額	14,431	-	-	△6,525
	エネルギー価格高騰 補填金	-	3,284	-	790
	令和 6 年能登半島 地震補填金	-	-	-	1,410
	指定管理者営業補填 金	-	-	-	6,953
	その他	58,489	66,717	63,771	66,448
②支出	104,653	116,208	111,479	113,521	
差引 (①-②)	6	1,639	3,141	1,774	

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・レストランの営業時間を短縮し、経費削減に努めた。
- ・地元音楽グループの定期公演開催や特別メニューの提供、風呂の日（26日）のレストラン100円割引券進呈などを行い誘客に努めた。
- ・宴会料理の見直し、関連会社で仕入れ業者（野菜・生鮮）の統一を行い、経費削減に努めた。

<⑪ 板倉保養センター>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	板倉区久々野 1624 番地 1
設置年度	平成 7 年度
構造	鉄骨造
面積	延床 1,426 m <sup>2</sup>
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・利用者数等

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計 画	実 績
利用者数	29,112人	32,500人	36,000人	34,815人
うち宿泊	865人	1,299人	1,200人	1,008人
うち日帰り	18,399人	20,504人	20,000人	22,357人
うち食堂	8,690人	9,071人	12,000人	9,491人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			予算現額	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	1,676	1,627	2,231	2,126
	板倉保養センター 管理運営委託料	20,180	13,795	23,334	17,172
	再算定による 増減額※1	12,084	-	-	△6,162
	その他委託料	143	-	-	-
	備品購入費	259	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	1,538	1,704	1,067
	令和6年能登半島 地震損害補填金※3	-	-	233	233
	その他	299	-	-	-
合計	22,557	16,960	27,502	20,598	
③公費投入額(②-①)	22,557	16,960	27,502	20,598	
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)	775	522	764	592	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	35,807	48,085	48,960	48,108
	板倉保養センター 管理運営委託料	18,345	12,541	16,829	15,611
	再算定による 増減額	10,985	-	-	△1,218
	エネルギー価格高騰 補填金	-	1,538	-	1,067
	令和6年能登半島 地震損害補填金	-	-	-	233
	その他	6,286	2,043	300	1,851
②支出		60,503	64,469	66,387	64,973
差引 (①-②)		△65	△262	△298	1,897

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・季節ごとの地域イベントへ積極的に参画し、来場者へ施設の利用を促すことができた。
- ・また、営業時間の短縮や閑散期となる冬期間に土日のみの営業とするなど、経費削減による効率的な運営に努めた。

<⑫ ゑしんの里記念館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	板倉区米増27番地4
設置年度	平成17年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床1,359㎡
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	一般財団法人ゑしんの里観光公社
指定の期間	令和4年4月1日から令和6年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計 画	実 績
利用者数	7,282人	8,063人	8,000人	9,175人

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			予算現額	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	671	3,613	4,230	4,229
	ゑしんの里記念館 管理運営委託料	15,324	16,044	15,803	14,841
	再算定による 増減額※1	2,049	-	-	△962
	その他委託料	143	-	-	-
	使用料及び賃借料	63	63	64	63
	備品購入費	-	-	300	300
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	596	1,449	1,389
	合計	16,201	20,316	21,846	20,822
③公費投入額 (②-①)	16,201	20,316	21,846	20,822	
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)	2,225	2,520	2,731	2,269	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者の収支状況等

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	257	219	250	214
	ゑしんの里記念館 管理運営委託料	15,324	16,044	15,803	14,841
	再算定による 増減額	2,049	-	-	△962
	エネルギー価格高騰 補填金	-	596	-	1,389
	その他	1,972	1,282	2,668	3,757
②支出	17,657	19,290	18,721	20,195	
差引 (①-②)	△104	△1,149	0	6	

○指定管理者による収支改善等の取組

各旅行会社に積極的な営業活動を行ったことにより、京都国立博物館で開催された「親鸞聖人生誕 850 年展」に合わせた各社の行程に、同記念館の見学を組み込んでもらい、来場者を確保した。

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

<⑬ うみてらす名立>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	名立区名立大町 4280 番地 1
設置年度	平成 12 年度
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
面積	延床 8,605 m <sup>2</sup>
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社B J・株式会社ゆめ企画名立
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
			計 画	実 績
利用者数	229,780 人	281,390 人	346,000 人	300,410 人
うち健康交流館「ゆらら」	82,455 人	100,078 人	104,000 人	104,064 人
うち交流促進施設「光鱗」	7,586 人	11,330 人	11,000 人	9,918 人

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			予算現額	実績	
①収入	9,971	76	76	75	
②支出	修繕料	12,964	8,526	13,194	13,193
	うみてらす名立 管理運営委託料	95,565	59,281	74,490	72,892
	再算定による 増減額※1	55,965	-	-	△1,598
	その他委託料	9,835	8,079	8,080	8,079
	使用料及び賃借料	2,750	2,007	152	144
	工事請負費	62,062	14,082	82,406	79,354
	備品購入費	575	3,652	2,016	1,955
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	13,683	4,704	1,064
	令和6年能登半島 地震損害補填金※3	-	-	14,441	1,905
	その他	1,610	377	378	336
合計	185,361	109,687	199,861	178,922	
③公費投入額 (②-①)	175,390	109,611	199,785	178,847	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	763	390	577	595	

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額
- ※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの
- ※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

決算書 (P 304～P 307)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	304,166	417,544	442,000	431,147
	うみてらす名立 管理運営委託料	86,877	53,892	61,000	66,265
		再算定による 増減額	50,877	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	-	12,439	-	1,064
	令和 6 年能登半島 地震損害補填金	-	-	-	1,905
	その他	7,716	4,882	1,000	18,616
②支出	398,450	482,390	503,500	514,198	
差引 (①-②)	309	6,367	500	4,799	

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

原材料やエネルギーなどの価格が高騰しており損失を抑制するため、閑散期の休館日を増やしたほか、一部飲食コーナーの休業、物販の営業時間短縮等を行い、損失額の縮減に努めた。

<⑭ 大島あさひ荘>

○実施内容、これまでの経過等

- ・公の施設の適正配置計画に基づき、令和 4 年度末をもって施設を廃止した。
- ・建物全体の老朽化が進み、強風による屋根の破損の状況等から、早急に対応する必要があるため、除却工事を行った。

施設解体工事 118,833

○目標達成状況

休止施設を除く 13 施設の利用者数の合計は、目標に対して 52,593 人少ない 718,217 人となり、目標を達成できなかった。

(目標達成率：93%、目標達成：6 施設、目標未達成：7 施設)

地域独自の予算事業 888

- ・いたくら里山彩花事業 (板倉区) (888)

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症への移行のほか、指定管理者により誘客イベント等が開催されるなど、前年と比較して、施設全体の利用者数が増加した。
- ・また、施設運営に多大な影響を及ぼしているエネルギー価格の高騰や、令和 6 年能登半島地震により発生した指定管理者の損失に対して、それぞれ補填金を支給するなど、施設設置者として適切な対応ができた。

決算書 (P304～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・近年増加しているインバウンド客の獲得が伸び悩んでいることから、施設の魅力向上や適切な維持管理に努め、利用者の増加につながるような取組を実施していく。
- ・一部の施設では、設備の老朽化に伴う休館が発生したことなどから、指定管理者が安心して管理運営できる環境を整える必要がある。
- ・人件費や施設修繕費など維持管理経費の増大が懸念されることから、必要に応じて、地域住民等と十分な協議をしながら、今後の施設の方向性について検討を進めていく必要がある。

**【執行残額について】**

入札差金：修繕、委託及び工事等の入札又は見積合わせに伴う執行残 4,842  
 その他：指定管理料の収入実績等に基づく精算に伴う執行残 41,512  
           補填金の収入実績等に基づく精算に伴う執行残 37,965  
           修繕料、電信電話料、借上料等の事業実績に伴う執行残 1,715

(単位：千円)

決算書 (P306～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課
事業名	通年観光推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,115	9,076		1,937			7,139
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	39			6	33	

**【目的】**

通年観光が目指す「大勢の来訪者が年間を通して楽しめるまち」の実現に向け、歴史・文化資源をいかして来訪者の受入環境を整える。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

通年観光プロジェクト管理運営費 9,076

## ○令和5年度目標

春日山、直江津、高田の各地域において、地域や関係団体等と合意形成を図りながら、令和6年度から令和12年度を対象期間とする計画の策定を完了する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・通年観光の計画策定にあたっては、令和4年度及び令和5年度の2か年にわたり検討を行った。
- ・令和4年度は、庁内検討チームが、参考となる事例の視察や当市の歴史文化等を学習するほか、地域の方々から延べ20回にわたり、地域の現状をお聞きするなど、通年観光の検討に必要な情報収集等に取り組んだ。
- ・令和5年度は、通年観光の基本方針や具体的な施策を計画として取りまとめるため、令和4年度に収集した各種情報を基に議論の土台となる計画のたたき台を作成し、春日山、直江津、高田地域の主要な団体や民間事業者への個別訪問など、延べ65回にわたり意見交換を実施し、「上越市通年観光計画案」を作成した。
- ・令和6年1月26日から2月26日までの間に同計画のパブリックコメントを実施し、116件(8人8団体)の意見が寄せられ、38件の意見を計画に反映し、4月1日に「上越市通年観光計画」を策定した。

## ○目標達成状況

春日山、直江津、高田の各地域において、地域や関係団体等と合意形成を図り、令和6年度から令和12年度を対象期間とする計画を策定した。

決算書 (P306～P307)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課
事業名	通年観光推進事業		

**【事業の成果】**

- ・「上越市通年観光計画」では、人口減少を背景とする地域の課題、特に衰退が懸念されている地域の歴史・文化について、観光という手法を用いてこれらを伝承していくことを目指す姿として位置付け、「まち・暮らしづくり」と「新しい観光産業の創出」の両立による持続可能なまちの形成を目指すため、各地域の具体的な施策を盛り込むことができた。
- ・また、地域との意見交換を通じて、それぞれの資源、特性を改めて整理することで、各地域の課題や必要としている取組を明確化することができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・今回策定した「上越市通年観光計画」は、今後具体的な整備計画等を策定することから、スケジュールに基づき確実に計画を推進することが必要である。
- ・計画策定の過程においては、地域の主要な団体や民間事業者等との意見交換、市民と市長との対話集会等において適宜説明するとともに、計画策定後においても広報上越を活用し、計画策定に至った背景や計画の概要について周知を図ってきた。今後の計画推進にあたっては市民や地域とより一層共有していく必要があることから、具体的な事業を進める際にも機会をとらえ説明を重ねていく。

**【執行残について】**

入札差金：通年観光計画策定支援業務に係る委託料の入札差金 6  
 その他：通年観光プロジェクト管理運営費に係る使用料等の執行残 33

(単位：千円)

決算書 (P306～P307)	7款1項5目 観光物産センター費	所管課等	観光振興課
事業名	観光物産センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,496	4,349					4,349
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	147				147	

**【目的】**

休止施設を適切に維持管理する。

## 令和5年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

○実施内容、これまでの経過等

- ・所在地 大字藤野新田175番地1
- ・設置 平成3年度
- ・構造 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て
- ・施設内容 大ホール：592㎡、中ホール：157㎡、会議室：111㎡  
ふるさとコーナー、事務所 ※令和5年度から休止
- ・面積 延床2,463.59㎡
- ・管理 直営
- ・利用形態 貸館施設 ※令和5年度から休止

決算書 (P 306～P 307)	7 款 1 項 5 目 観光物産センター費	所管課等	観光振興課
事業名	観光物産センター管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				目 標	実 績
利用者数		36,296 人	40,994 人	-	-
貸館利 用回数	大ホール	87 回	41 回	-	-
	中ホール	68 回	61 回	-	-
	会議室	103 回	90 回	-	-
	計	258 回	192 回	-	-

※令和 5 年度から休止のため利用実績なし

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	4,110	3,624	-	-
	その他	85	109	-	-
	合計	4,195	3,733	-	-
②支出	施設維持管理費	22,660	21,727	4,496	4,349
	うち委託料	10,676	10,889	939	931
	その他	-	-	-	-
	合計	22,660	21,727	4,496	4,349
③公費投入額 (②-①)		18,465	17,994	4,496	4,349
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)		509	439	-	-

○目標達成状況

令和 5 年度は休止としたが、最低限の維持管理を適切に行った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・防犯対策を講じたことで休止施設であるにも関わらず維持管理経費が多額になった。
- ・施設の利活用に向け、民間事業者をプロポーザル方式で募集し、民間活力を最大限いかした取組により、施設周辺の特性をいかした都市機能の充実を図るとともに、近隣施設との相乗効果を図っていく。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 147

(単位：千円)

決算書 (P392～P393)	11款5項1目 その他公共施設等災害復旧費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
30,082	12,049	4,319				7,730
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	18,033				18,033	

**【目的】**

令和6年能登半島地震により被災した観光施設を復旧し、機能回復を図る。

令和5年度の取組
----------

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

○実施内容、これまでの経過等

- ・林泉寺駐車場公衆トイレ 街灯修繕 242
- ・居多神社駐車場公衆トイレ 浄化槽修繕 1,782
- ・なおえつ海水浴場 管理所及びトイレ階段修繕 357
- ・なおえつ海水浴場 緊急整備業務委託 1,030
- ・なおえつ海水浴場 災害廃棄物撤去処分工事 8,638

**【事業の成果】**

早期に対応し、令和5年度末までに復旧を完了した。

**【執行残額について】**

その他：市で処分する災害廃棄物の量が当初の見込みを下回ったことによる減 18,033

(単位：千円)

決算書 (P392～P393)	11款5項1目 その他公共施設等災害復旧費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,595	3,389			2,500		889
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,206				1,206	

**【目的】**

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により生じた上越文化会館の損害を復旧する。

令和5年度の取組
----------

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○実施内容

<修繕内容>

- ・大ホール舞台天井剥離修繕 2,092
- ・市民サロン内壁タイル亀裂修繕 502
- ・東側・西側ポーチ出入口床段差修繕 410
- ・東面風除室建具修繕 385

**【執行残額について】**

その他：概算見積額と実績額との差金 1,206